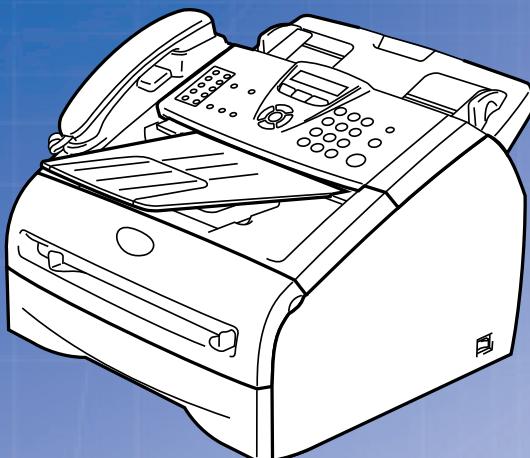
brother

FAX-2810
ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

画面で見るマニュアル（CD-ROM）
本製品の使い方に加え、パソコンとつないだときの詳しい使い方をすばやく探せます。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 7章「こんなときは」で調べる P.121

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

3 お客様相談窓口で相談
［ブラザーコールセンター］
0120-143-410
受付/9:00～20:00(土曜～17:00)
※日曜・祝日および当社指定休日は除きます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 18P

Version E

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収　検索

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

VCCI規格

この機器は、クラスB情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法(1968年制定)にしたがった米国厚生省(DHHS)施行基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

(本書で指示されている以外の)機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検･調整･修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

放散に関する認定基準

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマークNo.122「プリンタVersion2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しているTN-25Jを使用し、モノクロ印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62：2002の付録3～5に基づき試験を実施しました。)
オゾン：0.02mg/m³以下、粉塵：0.075mg/m³以下、スチレン：0.07mg/m³以下

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

複合機	1年間無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

●7日以内に修理品を返送。
弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［取引修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。※ 取引修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
取引修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL ： 052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示しています。		「分解してはいけないこと」を示しています。		「水場で使ってはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「しなければいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。		「アースをつなぐこと」を示しています。		
	「感電の危険があること」を示しています。		「火災の危険があること」を示しています。		「やけどの危険があること」を示しています。		

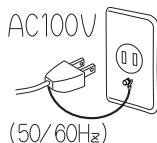
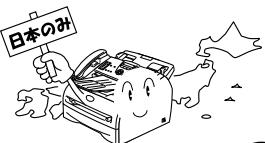
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410 へご連絡ください。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイド等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。
DC 電源やインバータ(DC-AC 変換装置)を接続して使用しないでください。
本機を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。

国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体(金属でない部分)を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

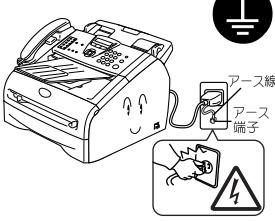
タコ足配線はしないでください。

アース線を取り付けてください
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧(雷など)がかかったとき本機を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。

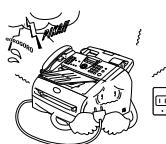
■取り付けられるところ

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 設置工事(第3種)が行われている設置端子

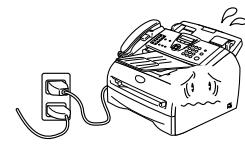
■絶対に取り付けてはいけないところ

- 電話専用アース線
- 避雷針

アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護動作が無効になります。

注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードも本機から抜いてください。

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

このような場所に置かないで

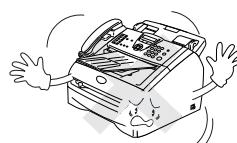
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

警告

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器などのそばに置かないでください。

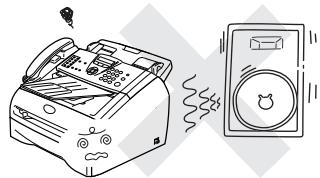
注意

温度の高いところ
直射日光のあたるところ、暖房設備などのそば

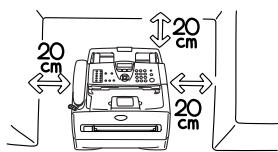
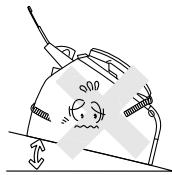
不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

油飛びや湯気の当たる場所
調理台などのそば

お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

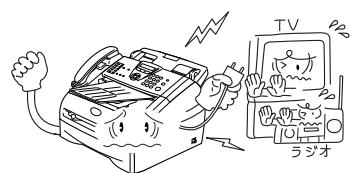
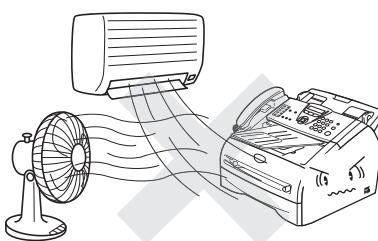
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

壁のそば
本機を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

◎急激に温度が変化する場所
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上

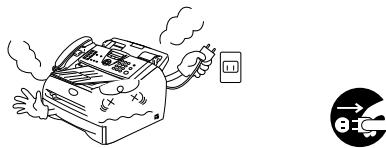
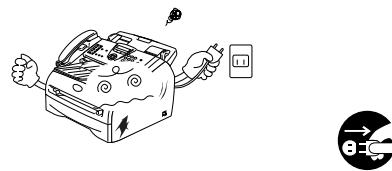
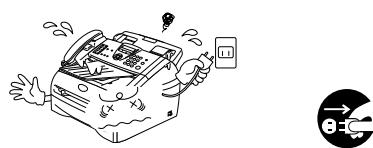
換気の悪い場所
換気の悪い場所で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり快適な環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分に行ってください。

電波障害時の対処
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本機をテレビから遠ざける。
- 本機またはテレビなどの向きを変える。
- 本機をコードレス電話の親機から遠ざける。

風が直接当たる場所
扇風機、クーラー、換気口など

もしもこんなときには

下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

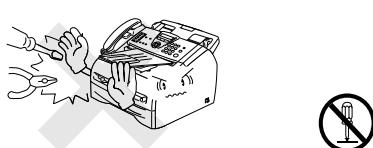
警告

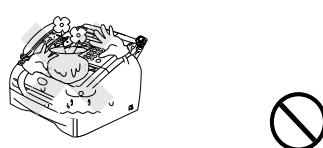
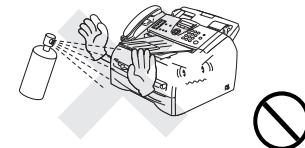
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

本機を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

その他のご注意

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

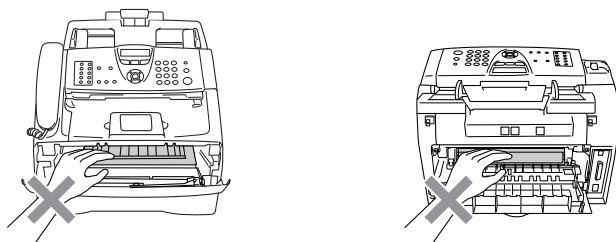
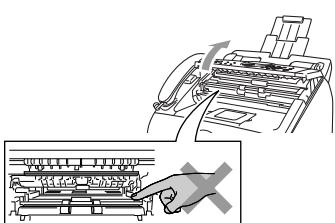
警告

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。

改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

本機の上に水、薬品などを置かないでください。

本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また近くでのご使用もおやめください。
可燃性スプレーの例
- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む
  除菌・消臭スプレーなど

警告

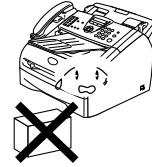
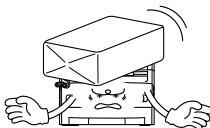
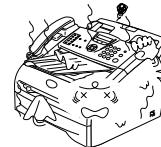
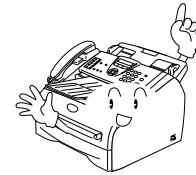
火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

注意

本機を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。
フロントカバーやバックカバーを開けるときは、下図のグレー部分には絶対に触らないでください。

図に示す所に指を入れないでください。

お願い

落下、衝撃を与えないでください。

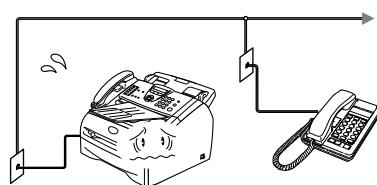
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

本機の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。

本機の上に重い物を置かないでください。

室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

指定以外の部品は使用しないでください。

本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店、営業所へご相談ください（116 番）。

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
１つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。

停電がおきたときは

! お願い

●次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後最大4日間保持されます。
- 送信メモリー文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書

●次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

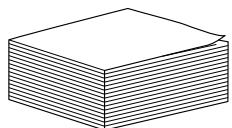
停電復旧時について
4 日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

停電中は使用できません。
本機はAC 電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。

記録紙について

! お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

トナーについて

お願い

トナーカートリッジを無理に開けないでください。
トナーの粉末が漏れ出すおそれがあります。

トナーの粉末が漏れ出した場合には、トナーの粉末の吸引および皮膚への接触は避けてください。

トナーカートリッジは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
万が一、お子様がトナーの粉末を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

トナーの粉末に接触した場合の対処

●衣服や皮膚に付着した場合
石けんを使って水でよく洗い流してください。

●吸引した場合
新鮮な空気があるところへ移動し、大量の水でうがいをしてください。
せきなどの症状があるときは、医師の診察を受けてください。

●飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。
すみやかに医師の診察を受けてください。

●目に入った場合
直ちに流水でよく洗ってください。
刺激や痛みが残るようであれば、医師の診察を受けてください。

ユーザーズガイドの構成

本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	かんたん設置ガイド 本機を使用するための準備について記載しています。
	ユーザーズガイド（本書） コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	CD-ROM 付属の CD-ROM には、ユーザーズガイドが HTML 形式で収録されています。ファクスやコピーなどの機能に加え、プリンタなどのパソコンと接続して使う機能について説明しています。

画面で見るマニュアルのみかた

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROMドライブにセットする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

メイン画面が表示されます。

2 「画面で見るマニュアル」をクリックする

3 「画面で見るマニュアル HTML 形式」をクリックする

「画面で見るマニュアル」が表示されます。

補足

● パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX-2810］－［ユーザーズガイド］を選んでください。

Macintosh® の場合

1 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROMドライブにセットする

2 「Documentation」をダブルクリックする

3 「ALLSF_JpnTop.html」をダブルクリックする

「画面で見るマニュアル」が表示されます。

補足

● 最新のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

マーク	説明
注意	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	参照先を記載しています。（XXX はページ）
P.xxx	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はページ）
	HTML マニュアルを参照しています。

商標について

Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OSは、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本書の使い方・目次
ご使用の前に
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
レポート・リスト
コピー
こんなときは
付録

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を示します。

大見出しです。

中見出しです。

本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
特に⚠マークがあるものは、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

参照先を記載しています。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

本書の使い方・目次 / ご使用の前に / ファクス / 電話帳 / 転送・リモコン機能 / レポート・リスト / コピー / こんなときは / 付録

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注意

■ドラムユニットは本機に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-20J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本機の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ドラムユニットにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■ドラムユニットを交換した後は、本機をきれいに清掃してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

補足

● 液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換されることをお勧めします。

●「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本機も掃除されることをお勧めします。P.133 を参照してください。

ドラムユニット交換のしかた

1 フロントカバーを開く

2 ドラムユニットを本機から取り出す
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

3 ドラムユニットの青いロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

ロックレバー

次ページへ続く

139

次ページに続いていることを示します。

ページで番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

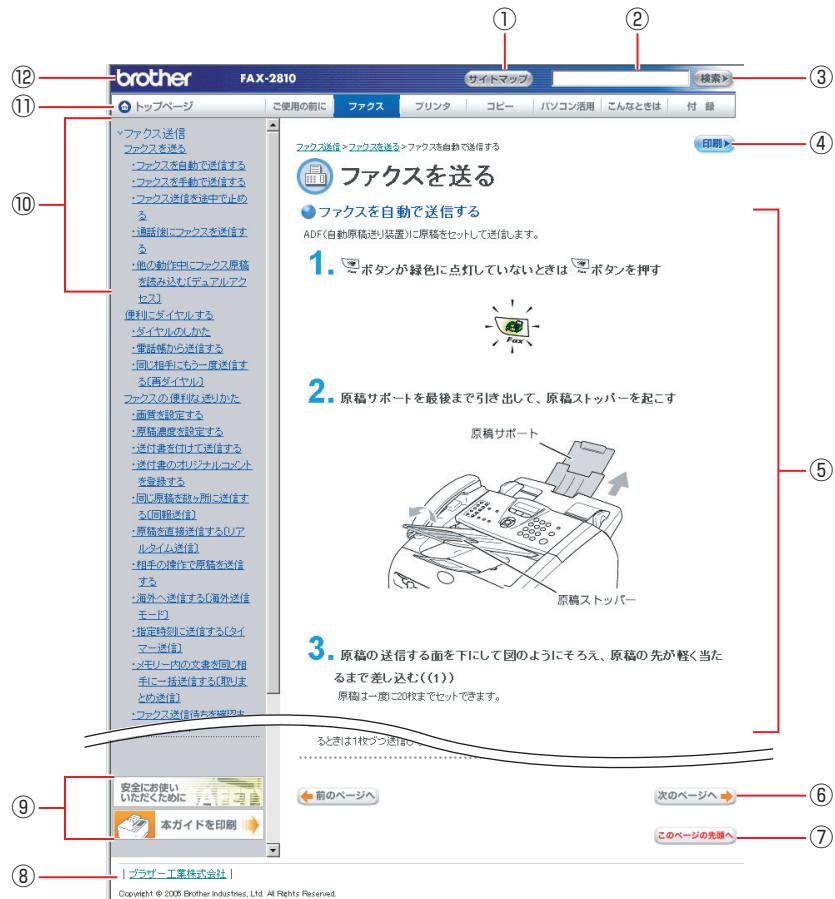
次ページへ続く

HTMLマニュアルの表示画面と操作

付属のCD-ROMには「画面で見るマニュアル（HTML形式）」が収録されており、プリンタなどパソコンと接続して使う機能についても記載しています。以下では画面で見るマニュアル（HTML形式）の画面と操作を説明しています。この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

補足

- パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
- ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［ユーザーズガイド］を選んでください。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	本ガイドの全体構成図を表示します。
③	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：本ガイドを印刷する場合の説明をしています。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次です。
⑥	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。

<table>
<tr><td>①</td><td>本ガイドの全体構成図を表示します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>各機能のページ（章）に移動します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>現在のページを印刷します。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>操作内容が表示します。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>次のページに移動します。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>現在のページの最上部に移動します。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑨</td><td>「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。</td></tr>
<tr><td>「本ガイドを印刷」：HTMLマニュアルを印刷するときの説明をしています。</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>中見出し・小見出しです。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>大見出しです。</td></tr>
<tr><td>⑫</td><td>トップページに移動します。</td></tr>
</table>

やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に「第2章 ご使用前の準備」を必ずお読みください。

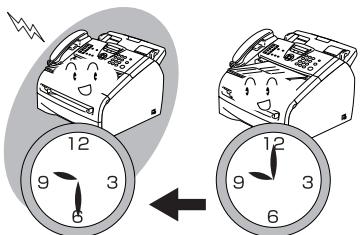
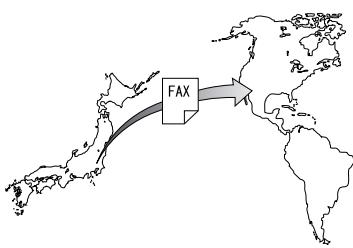
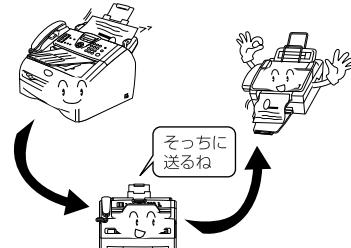
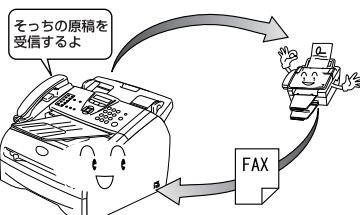
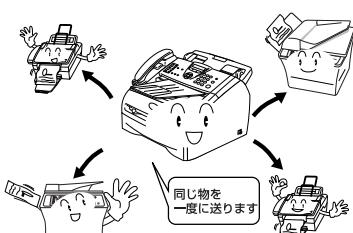
ファクス

簡単に送信したい。
(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル)
P.68

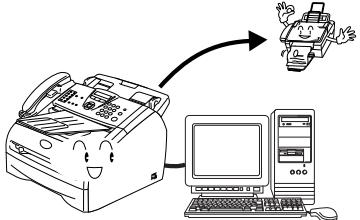
自動で受信したい。
(自動受信) P.45

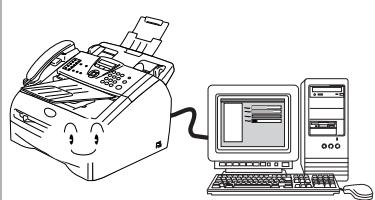
画質を調整したい。
(画質調整) P.71

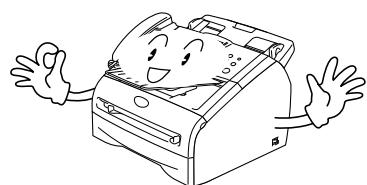
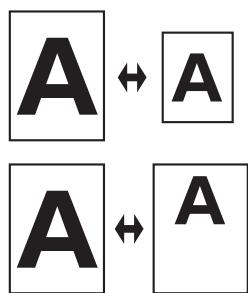
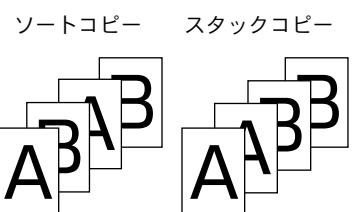
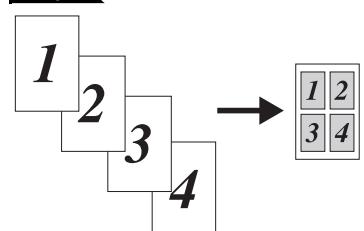
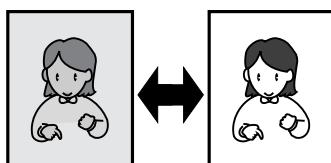
ファクス画質

指定した時刻に送信したい。
(タイマー送信) P.79

海外に送信したい。
(海外送信) P.78

外出先で受信したい。
(ファクス転送) P.96

受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。
(ポーリング) P.85

複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
(同報送信) P.74

ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。
P.62

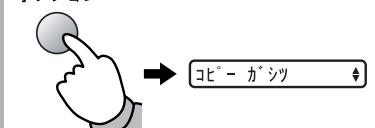
パソコンからファクスを送信したい。

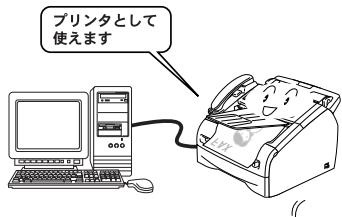
詳しくはHTMLマニュアルを参照してください。

パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

詳しくはHTMLマニュアルを参照してください。

コピー

たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P.114

拡大/縮小コピーしたい。P.116

効率よく複数部コピーしたい。P.118

2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。（2 in 1、4 in 1）P.119

コントラストを変えたい。P.117、P.120

画質をきれいにコピーしたい。P.117、P.120

オプション

ｺﾋﾟｰ ｶﾞｼﾂ

プリンタ

プリンタとして使いたい。
詳しくは HTML マニュアルを参照してください。
プリンタとして使えます
カスタム設定をしたい。
詳しくは HTML マニュアルを参照してください。
解像度を設定する

目　次

必要に応じて設定してください

ファクス送信

画面で見るマニュアル（HTML 形式）をみてください。

- ●ファクス
- ●プリンタ
- ●コピー
- ●パソコン活用

ご使用の前に

かならずお読みください

必要に応じて設定してください

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

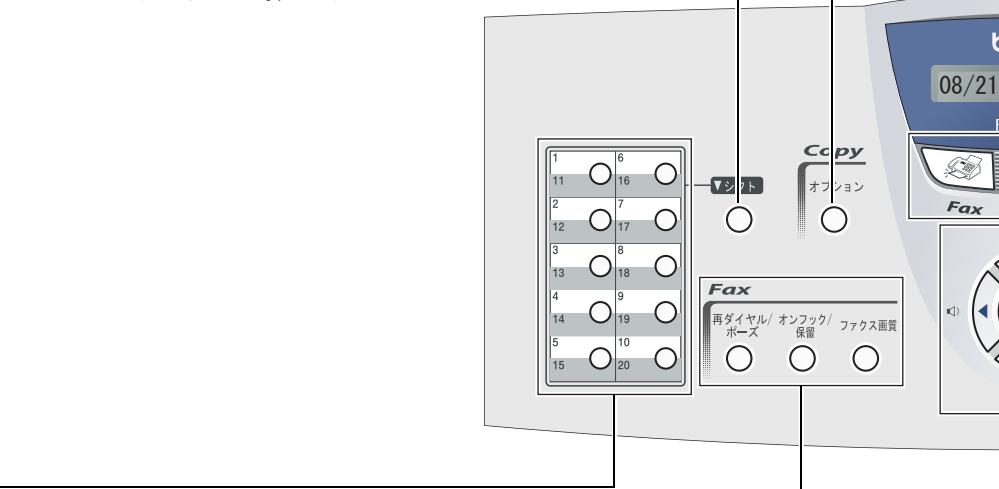
操作パネルの名称とはたらき

コピー機能ボタン

●オプションボタン

コピーの設定を一時的に変更するときに押します。P.116

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの11～20を登録またはダイヤルするとき、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P.68

ファクス機能ボタン

●再ダイヤル/ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P.70

ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

●オンフック/保留ボタン

ファクスを手動送信するときに押します。P.67

通話中に押すと、通話を保留にして相手にメロディが流れます。

●ファクス画質ボタン

ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。P.71

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。P.31

モード選択ボタン

ファクス／コピーの各モードに切り替えます。P.40

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

レポートボタン

通信管理レポートや、リストなどを印刷するときに押します。P.108

停止/終了ボタン

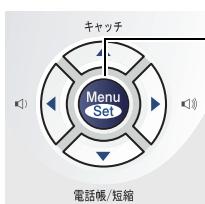
ファクス送信または操作を中止するときや機能設定を終了するときに押します。

スタートボタン

ファクスの送受信やコピーを開始するときなどに押します。

ナビゲーションキー P.32

キャッチ

キャッチホンを使うときに押します。

機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 音量を小さくします。

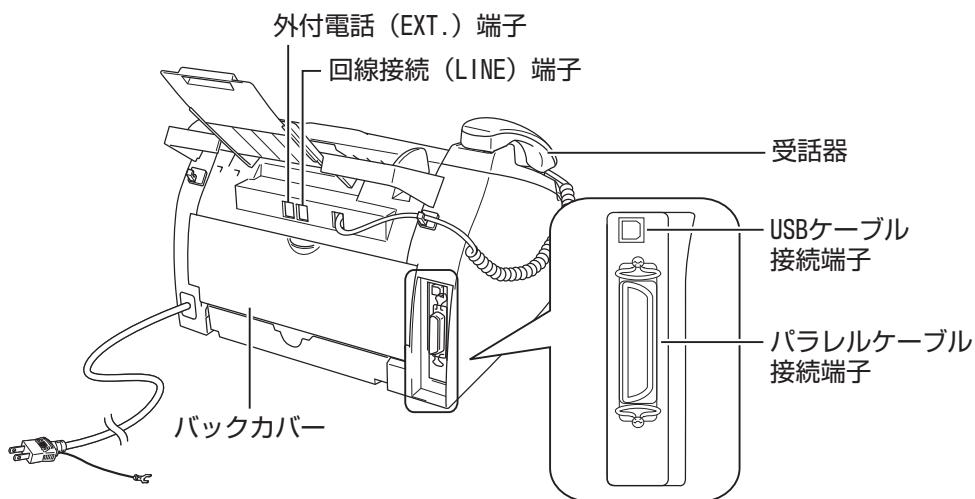
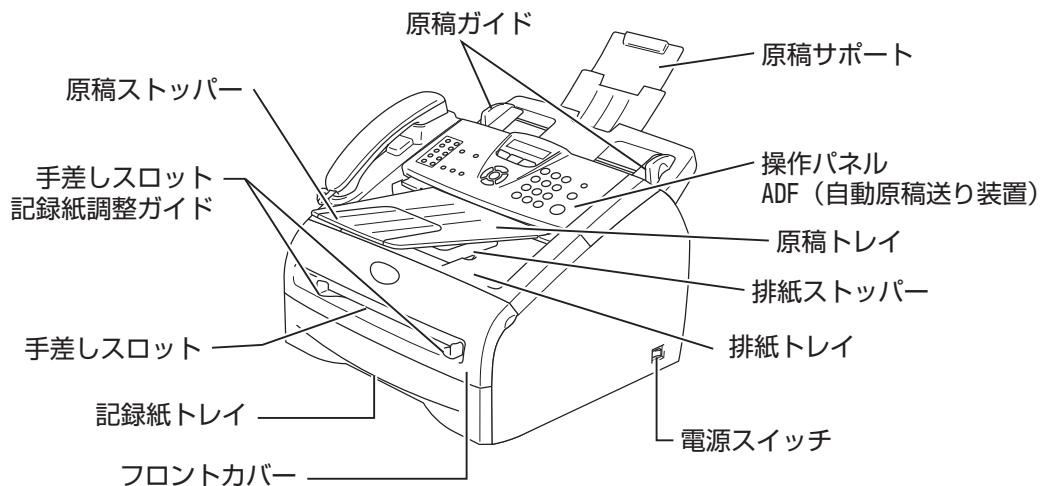
- 次のレベルメニューに移動します。
- 音量を大きくします。

電話帳/短縮

電話帳から検索するときに押します。P.69

各部の名称

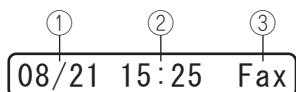
原稿ガイド
原稿サポート
原稿ストッパー
手差しスロット
記録紙調整ガイド
操作パネル
ADF（自動原稿送り装置）
原稿トレイ
排紙ストッパー
手差しスロット
排紙トレイ
記録紙トレイ
電源スイッチ
フロントカバー

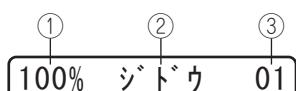
外付電話（EXT.）端子
回線接続（LINE）端子
受話器
USBケーブル
接続端子
パラレルケーブル
接続端子
バックカバー

《かならずお読みください》

液晶ディスプレイの特徴

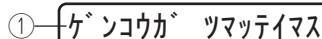
液晶ディスプレイについて

本機は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。

ファクスモードの標準画面

①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。

コピーモードの標準画面

①：拡縮率が表示されます。
②：コピー画質が表示されます。
③：コピー枚数が表示されます。

案内メッセージ(エラーメッセージ例)

①ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ

①：エラー内容などが表示されます。
エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 Menu/Set 0 0 を押す

0.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ

2 で言語を選択する

ｺﾄﾊﾞ :ﾆﾎﾝｺﾞ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾆﾎﾝｺﾞ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

  This setting allows you to change LCD language to English.

  1 Press Menu/Set 0 0

  2 Press to select "English".

  3 Press Menu/Set.

  4 Press 停止/終了 to exit.
- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「English」フォルダ内の「README」を参照してください。

  For the method of installing the English OS driver, see "README" in "English" folder stored on the attached CD-ROM.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本機は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。
ナビゲーションキーを使用することによって、設定したい項目を選択しながら設定することもできます。

ナビゲーションキー	キーの役割
Menu Set	• メインメニューを表示する場合 • 次のメニューレベルに移る場合 • 選択項目を確定（決定）する場合 • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ウケツケマシタ」と表示されます。
	• メニュー内の項目を表示する場合
	• 前のメニューレベルに戻る場合 • 音量を小さくする場合
	• 次のメニューレベルに進む場合 • 音量を大きくする場合
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

Menu Set を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

補足

● 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類	記録紙名
普通紙	（株）リコーマイペーパー A4T目
再生紙	富士ゼロックス（株）オフィスサプライ　グリーン100※
OHPフィルム	住友3M CG3300
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362

※古紙パルプ100%の再生紙を使用しています。

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ	手差しスロット
普通紙 (75g/m2～105g/m2)	○	○
厚紙 (105g/m2～161g/m2)	×	○
薄紙 (60g/m2～75g/m2)	○	○
再生紙	○	○
OHPフィルム	○（10枚）	○
ラベル紙	×	○
封筒	×	○

補足

- 宛名ラベル、OHPフィルムなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 本機は再生紙を使用できます。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜き取ってください。
- はがきは印刷すると大きく反ってしまう（カール）ため、ご使用できません。

セットできる記録紙サイズと枚数

下記の記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

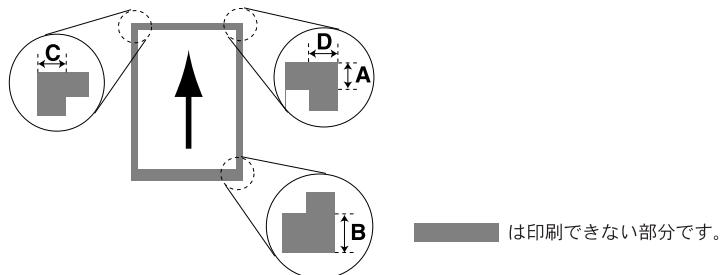
	記録紙トレイ	手差しスロット
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS）、A5※、A6	幅69.9～215.9mm×長さ116～406.4mm
枚数	250枚（80g/m^2）	1枚

※A5横は手差しスロットをご使用ください。P.37 を参照してください。

補足

● 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	3.0	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

● 印刷できない部分の数値（表中の　A、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

注意

■一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンタで印刷した記録紙は、絶対に使用しないでください。

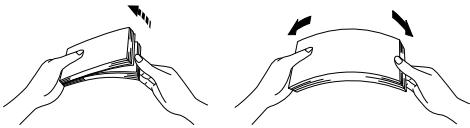
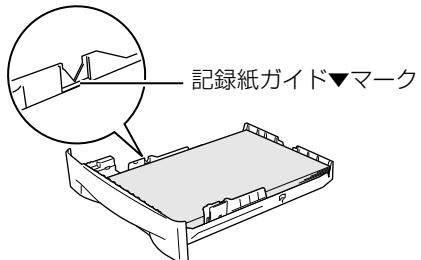
■インクジェット紙は絶対に使用しないでください。

■一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。

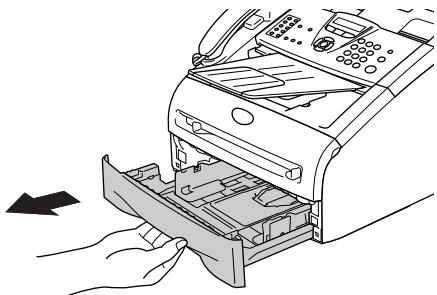
■ビニールコーティングされた記録紙は絶対に使用しないでください。

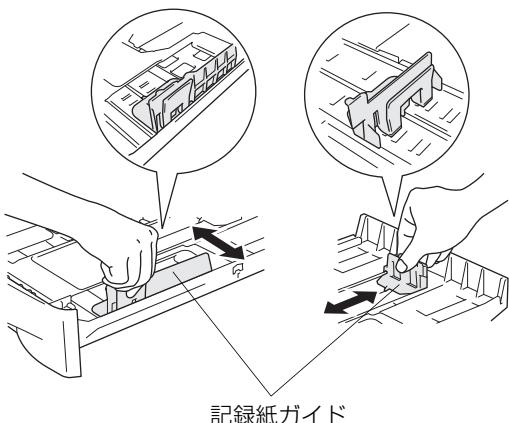
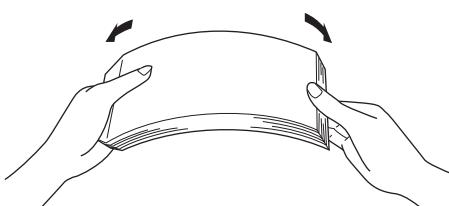
■極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。

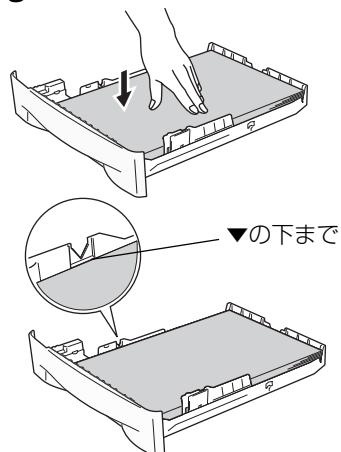
■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。

- 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。

■記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。

■排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙（80g/m^2紙）の場合、約100枚です。

記録紙トレイに記録紙をセットする

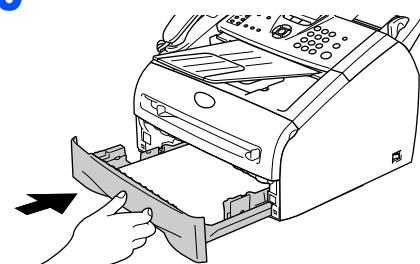
1 記録紙トレイを完全に引き出す

2 記録紙ガイドをつまみながらスライドする

ご使用になる記録紙のサイズに合わせます。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

注意

■記録紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙詰まりや給紙ミスの原因になります。

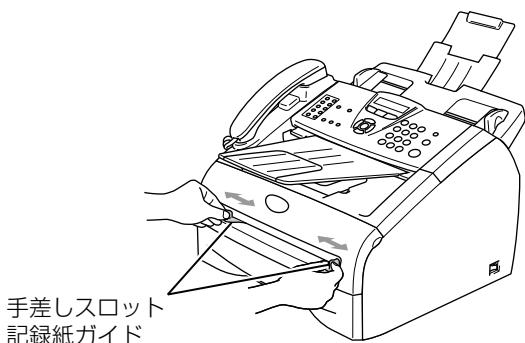
補足

- A4(80g/ ㎡の普通紙）で約 250 枚までセットできます。
- 記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

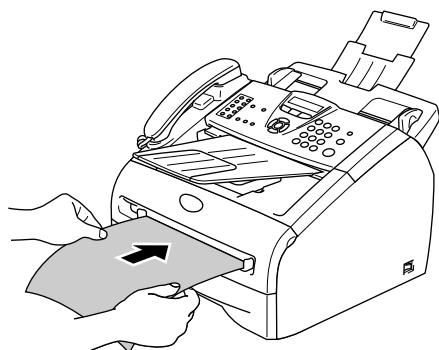
5 記録紙トレイを本機に戻す

6 原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起こす

手差しスロットから印刷する

ラベル紙や厚紙などは手差しスロットから印刷します。

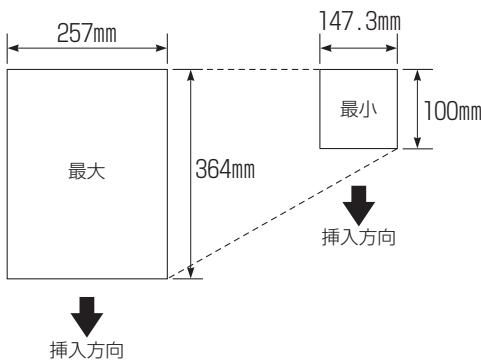
1 手差しスロット記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる

2 記録紙を両手で持って手差しスロットに差し込む

用紙の先端をつきあたるまで入れ、用紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。自動的に紙が引き込まれたら、記録紙から手を離します。

補足

- 印刷する面を上向きにしてセットしてください。
- 手差しスロットに差し込むときは、記録紙をゆっくりと差し込んでください。
- 記録紙は、まっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと紙づまりを起こしたり、斜めに印刷される恐れがあります。
- 記録紙は1枚づつ差し込んでください。

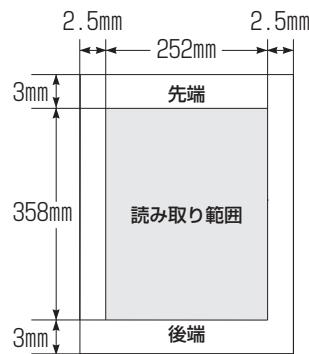
原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機などでセットできる原稿サイズにコピーしてからセットしてください。

坪量　：64g/m^2 ～ 90g/m^2

原稿の読み取り範囲

B4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

〈ファクス・コピー〉

補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。P.34 を参照してください。

《かならずお読みください》

注意

ファクスについて

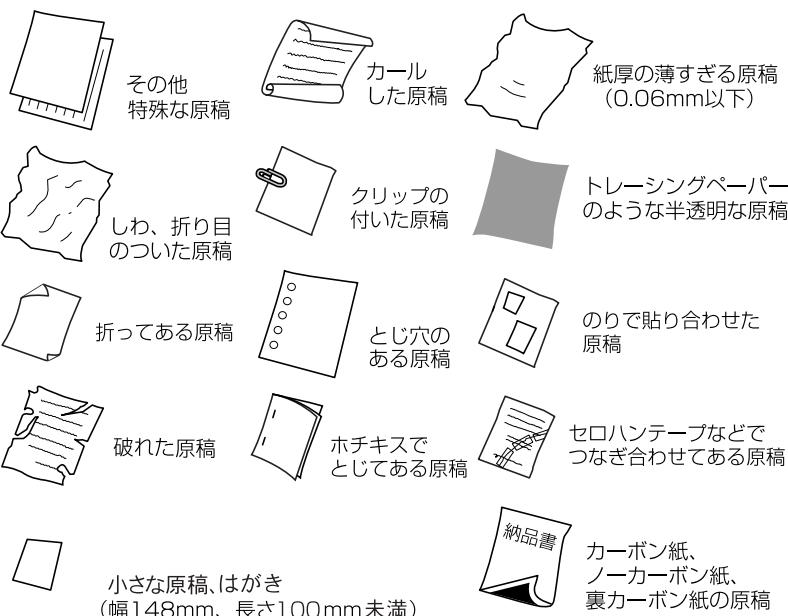
■原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。

■インクやのりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■送信するときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■以下のような原稿は、複写機でコピーしてから送信してください。キャリアシートを使って原稿をセットすることもできますが、1枚づつ送信してください。

コピーについて

■法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製はがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

モードについて

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピーの各モードを選択することができます。

現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 Menu/Set 1 1 を押す

1.ﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｰ

2 ▲▼で時間を選択する

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

ﾓｰﾄﾞ:30 ﾋﾞｮｳ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

● お買い上げ時、モードタイマーは「30 ビョウ」に設定されています。

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

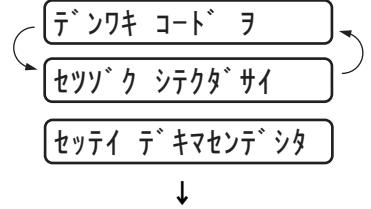
電話機コードと電源コードを接続すると、本機は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ	：プッシュ回線に設定されたとき
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS ﾃﾞｽ	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別は「プッシュ回線」に設定されます。

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については P.42 を参照してください。

● 電話機コードを接続せずにコピーなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

《かならずお読みください》

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1   **を押す**

4.カイセンシュベツ セッテイ

2 **で回線種別を選択する**

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　：プッシュ　カイセン
- ダイヤル回線10PPSのとき　：ダイヤル　10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき　：ダイヤル　20PPS
- 自動設定を行うとき　：ジドウ　セッテイ

カイセン:プッシュ カイセン

3 **を押す**

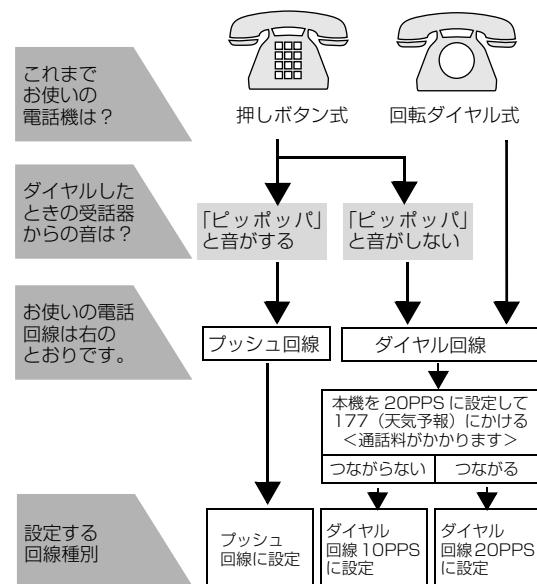
ウケツケマシタ

4   **を押す**

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「プッシュ　カイセン」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本機を接続する場合
本機の回線種別設定は、NTT と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。

補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1   **を押す**

2.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

2 **年号（西暦の下2桁）を入力して Menu/Set を押す**

例：2006年の場合は「06」

ﾈﾝ:2006

3 **月を2桁で入力して Menu/Set を押す**

例：8月の場合は「08」

ﾂｷ:08

4 **日付を2桁で入力して Menu/Set を押す**

例：21日の場合は「21」

ﾋﾂﾞｹ:21

5 **時刻を入力する**

例：午後3時25分の場合は「1525」

ｼﾞｺｸ:15:25

6 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

7 停止/終了 **を押す**

補足

● 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

08/21 15:25 Fax

● 間違って入力した場合は、停止/終了 を押し、再度初めから入力し直してください。

● 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。

● 4日間以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1   **を押す**

3.ハッシンモト トウロク

2 **ファクス番号を入力して** **を押す**

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

ファクス:03XXXXXXXX

3 **電話番号を入力して Menu Set を押す**

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

デンワ:03XXXXXXXX

4 **名前を入力する**

20文字まで登録できます。

ナマエ:スズキ ケイコ

5 **Menu Set を押す**

ウケツケマシタ

6 **停止/終了 を押す**

補足

- ファクス番号、電話番号には数字しか入力できません。
- 入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、 を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
  途中の文字を間違えたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
- 停止/終了 を押すと、カーソル位置の文字から最後の文字まで削除します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書についてはP.73 を参照してください。

発信元登録を消去する

1   **を押す**

3.ハッシンモト トウロク

2 **1 で「ヘンコウ」を選択する**

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 **停止/終了 を押して、登録されている文字をすべて消去する**

ファクス:

4 **Menu Set を押す**

ウケツケマシタ

5 **を押す**

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

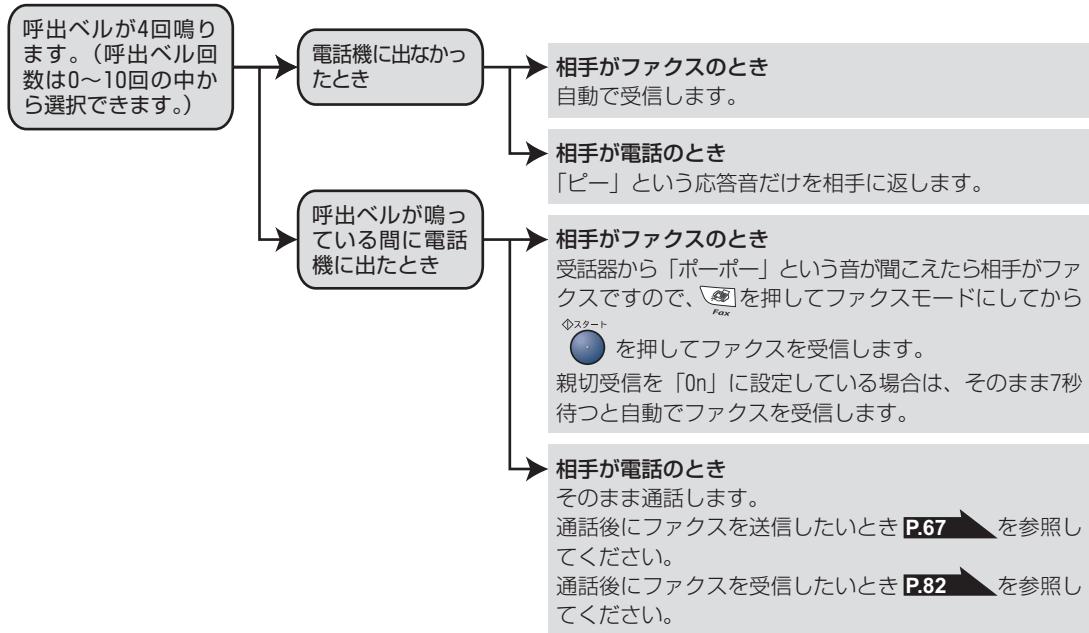
本機の受信モードには以下の種類があります。

■お使いの電話機を本機と接続しない場合
- ファクス専用モード
- 自動切替モード

■お使いの電話機を本機と接続する場合
- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本機と接続しない場合

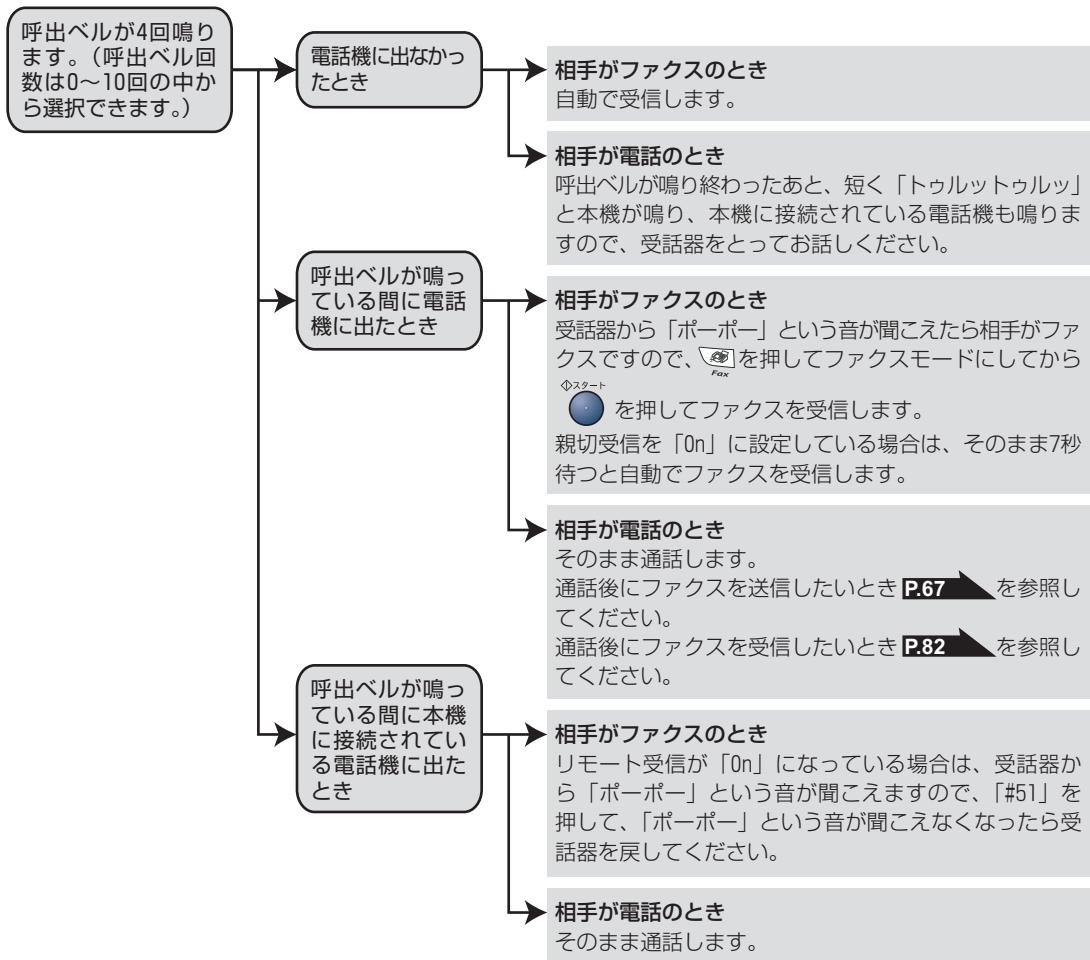
ファクス専用モード

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本機に接続してお使いになるときは、 ファクス専用モードに設定しないでください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて（スタート）を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは P.50 を参照してください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して（スタート）を押してください。
- リモート受信が「On」になっている場合は、本機に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。

お使いの電話機を本機と接続する場合

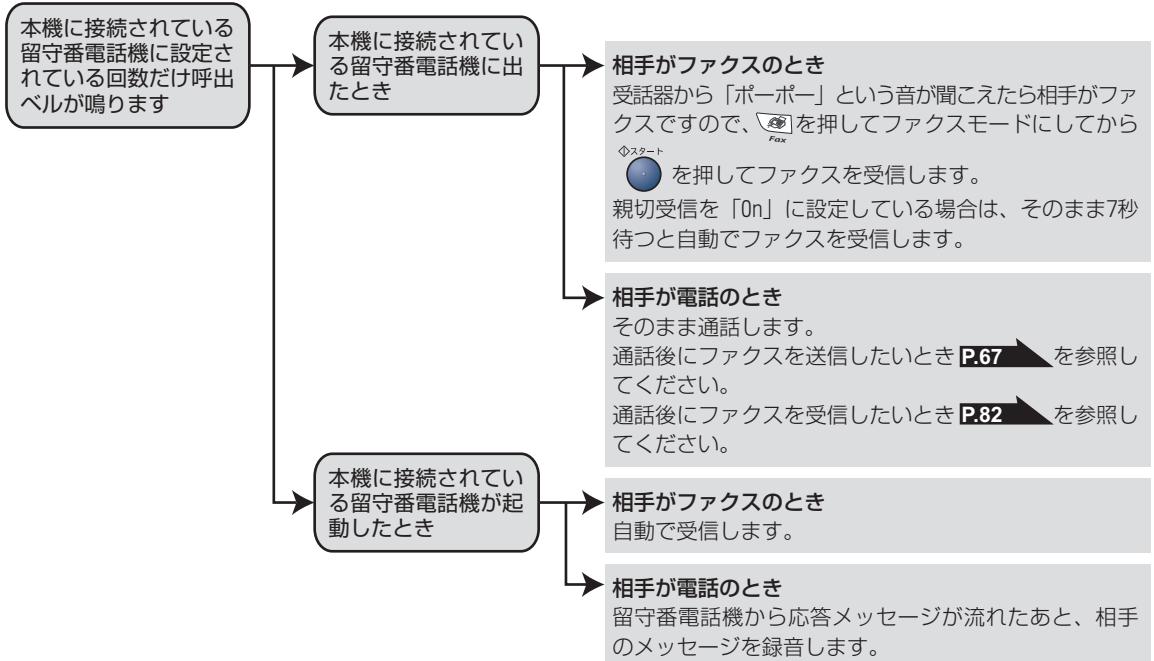
自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P.50 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは スタート を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本機と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。

《かならずお読みください》

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本機に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

注意

■本機に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

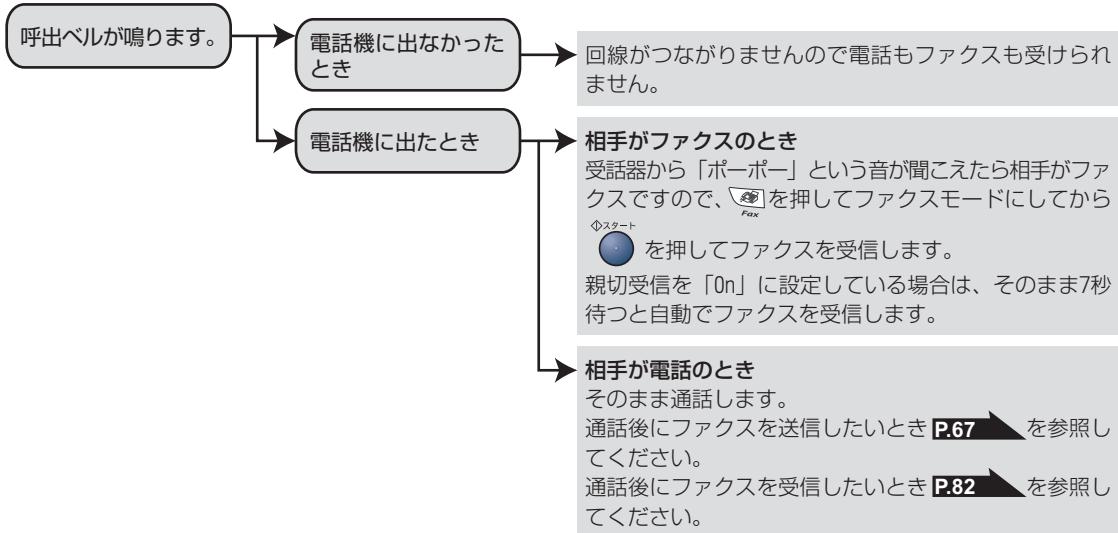
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

☞ 次ページへ続く

電話モード

電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

補足

ファクス受信について

- 本機に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P.84 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて スタート を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押してください。

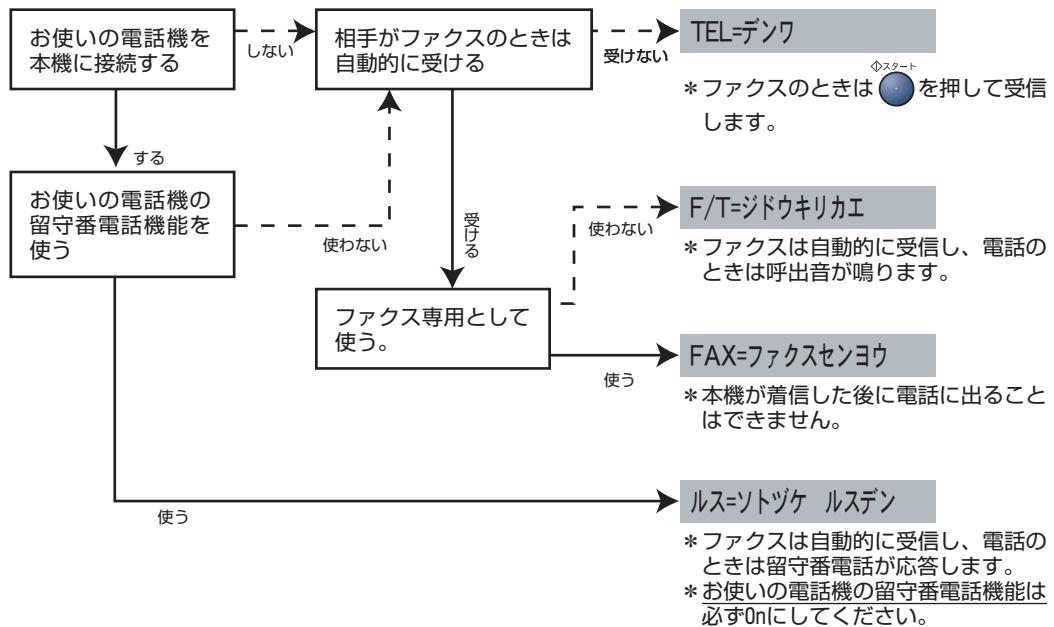
キャッチホン契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選択します。

受信モードを設定する

1 Menu/Set 0 1 を押す

1.ジュシン モード

2 ▲▼でモードを選択する

「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソトヅケ　ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。

FAX=ファクスセンヨウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。
- 「ルス=ソトヅケ　ルスデン」モードを設定した場合は、必ず電話機を本機に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 **を押す**

1.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ

2 **で呼出回数を選択する**

0～10回から選択します。

ｶｲｽｳ:04

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 **を押す**

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本機に電話機を接続している場合、本機の呼出回数を0回に設定しても本機に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本機に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P.57 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 **を押す**

2.ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ

2 **で再呼出回数を選択する**

「08」「15」「20」の中から選択します。

ｶｲｽｳ:08

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 **を押す**

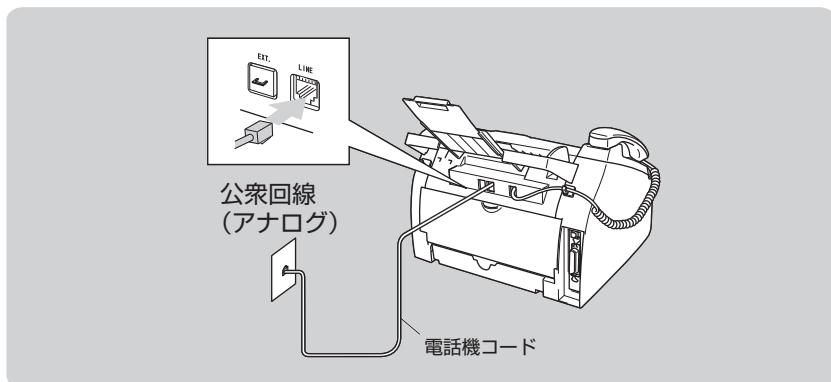
補足

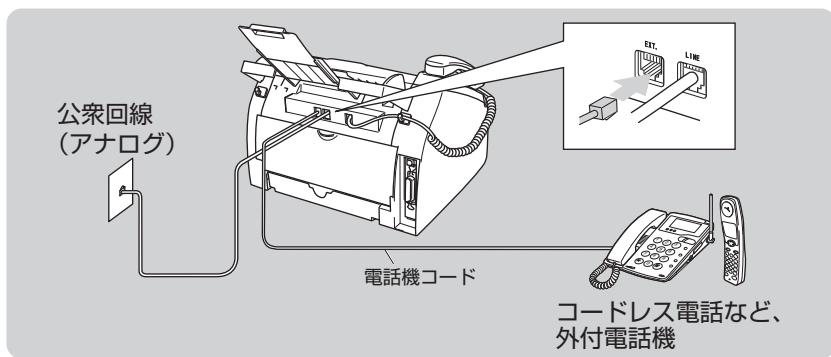
- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本機は、設定した回数だけ呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

本機の接続イメージ

本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

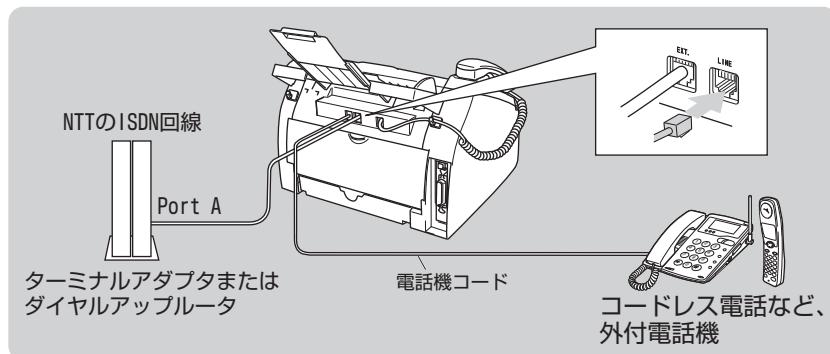
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

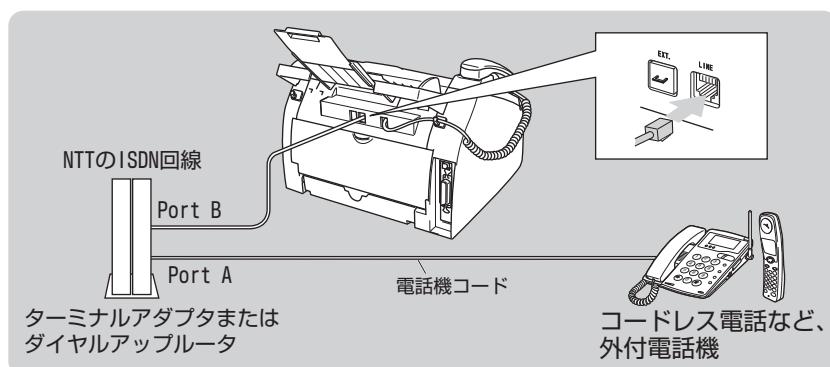
受信モードをファクス専用に設定します。

公衆回線に接続する場合（本機に電話機を接続する場合）

本機に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

補足

- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りのNTT窓口（116番）にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本機に接続する場合は、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」に設定してください。P.62 を参照してください。
- 外付電話端子（EXT.)に接続できる端末（電話機など）台数は１台です。

ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

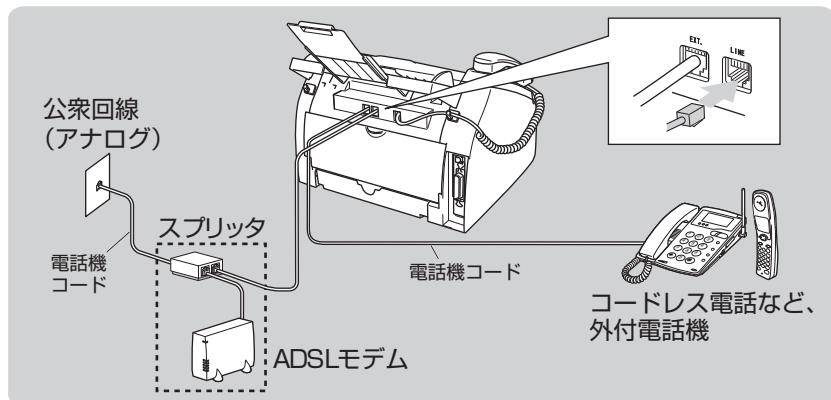
電話とファクスの同時使用はできません。

ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

補足

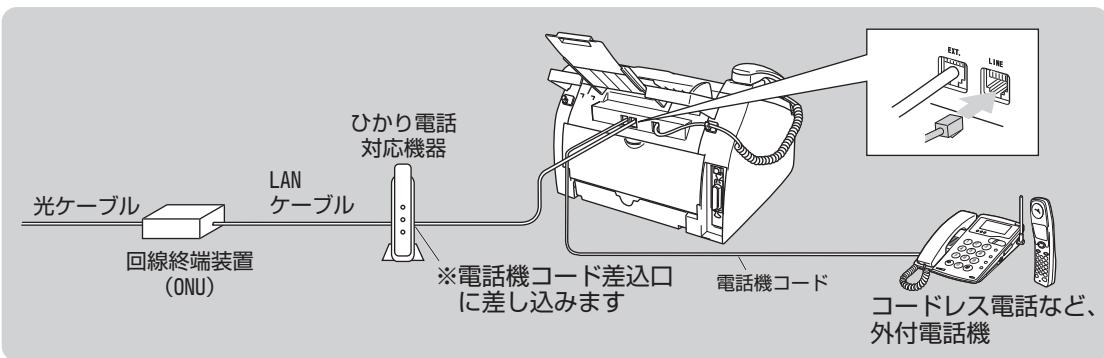
- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本機を接続した場合Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
  - 電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - 本機の回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。　お買い上げ時の設定は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」になっています。電話回線の設定の詳細については P.41 を参照してください。
- ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータ側は本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合は P.64 を参照してください。

《かならずお読みください》

ADSL環境に接続する場合

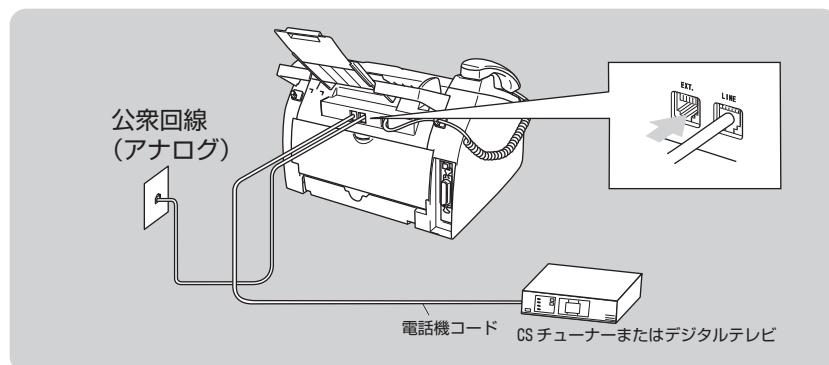
受信モードを自動切替えに設定します。

補足

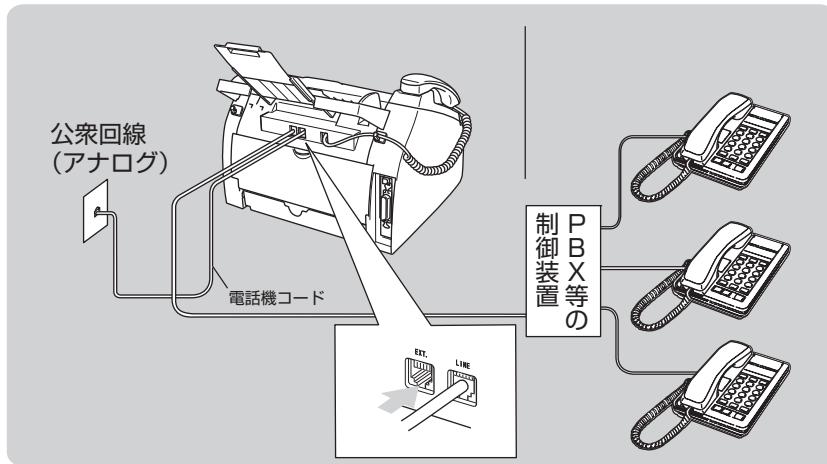
- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。P.10 を参照してください。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。P.64 を参照してください。
- [点線枠]の部分は、ご利用される機器によって一体型のADSLモデムの場合もあります。

ひかり電話に接続する場合

補足

- ひかり電話の詳しいサービス内容はNTTにお問い合わせください。
- ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTTから郵送される書面をご覧ください。
- ひかり電話対応機器の設定方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。

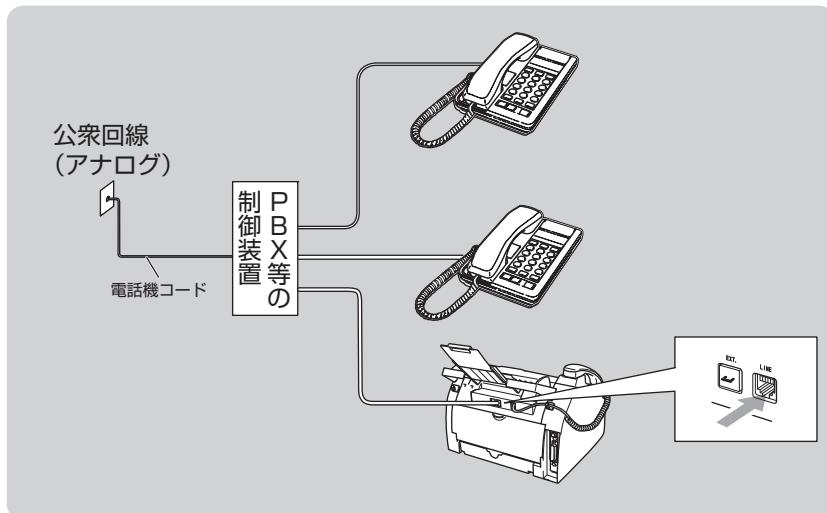
CSチューナーやデジタルテレビを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。CS チューナーやデジタルテレビは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。

構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。

補足

- ビジネスホンとは
  電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
  電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本機の特別回線の設定を「PBX」にしてください。P.64 を参照してください。

《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 Menu/Set 1 2ABC を押す

2.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ

2 ▲▼で記録紙のタイプを選択する

「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」「ｱﾂｶﾞﾐ」「ﾁｮｳｱﾂｶﾞﾐ」「OHPﾌｨﾙﾑ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。

ｷﾛｸｼ:ﾌﾂｳｼ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、記録紙のタイプは「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

記録紙のサイズを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1 Menu/Set 1 3DEF を押す

3.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ

2 ▲▼で記録紙のサイズを選択する

「A4」「B5」「A5」「A6」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。

ｻｲｽﾞ:A4

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、記録紙のサイズは「A4」に設定されています。
- 記録紙を「A4」以外のサイズに設定しているときにファクス受信した場合は、液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ」のエラーメッセージが表示されて印刷することができません。記録紙トレイにA4サイズの記録紙を入れて、記録紙サイズの設定を「A4」にしてください。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1   **を押す**

1.ﾁｬｸｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ

2 **で音量を選択する**

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

ｵﾝﾘｮｳ:ﾁｭｳ

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時、ベルの音量は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- Fax ボタンが緑色に点灯しているときは着信音量を ◁▷ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1   **を押す**

2.ﾎﾞﾀﾝｶｸﾆﾝ ｵﾝﾘｮｳ

2 **で音量を選択する**

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

ｵﾝﾘｮｳ:ﾁｭｳ

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時、ボタン確認音量は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- 「Off」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 を押す

3.ｽﾋﾟｰｶｰ ｵﾝﾘｮｳ

2 で音量を選択する

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

ｵﾝﾘｮｳ:ﾁｭｳ

3 を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、スピーカー音量は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック/保留 を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときにを押して調節することもできます。

受話音量を設定する

相手の声の大きさを調節します。

1 を押す

4.ｼﾞｭﾜ ｵﾝﾘｮｳ

2 で音量を選択する

「ｼｮｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

ｵﾝﾘｮｳ:ｼｮｳ

3 を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｼｮｳ」に設定されています。
- 受話器で相手と通話中にを押して調節することもできます。

トナーを節約する

トナーを節約したいときは、「トナーセーブ」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1   **を押す**

```
1.トナー セーブ
```

2

```
トナー セーブ:On
```

3

```
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本機は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1   **を押す**

```
2.スリープ モード
```

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

00〜99分まで分単位で設定します。

```
スリープ カイシ:05フン
```

3

```
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために10秒〜20秒時間がかかります。
- お買い上げ時は「05フン」に設定されています。
- 手順2で スタート と オプション を同時に押すと「On」「Off」が選択できるようになります。「Off」を選択すると、スリープモードにはなりません。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見にくいときは、コントラストを調整します。

1 **を押す**

6.ガメンノ コントラスト

2 **でコントラストを選択する**

「ウスク」「コク」の中から選択します。

コントラスト:コク

3 **を押す**

ウケツケマシタ

4 **を押す**

補足

● お買い上げ時は「コク」に設定されています。

設定ロックのしかた

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付／時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ･短縮･グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙タイプ
- 記録紙サイズ
- 音量（着信･ボタン確認･スピーカー･受話）
- 省エネモード（トナー節約･スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- 設定ロック

パスワードを登録する

補足

● パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 **を押す**

7.セッテイロック

2 **4桁のパスワードを入力して****を押す**

3 **パスワードを再度入力する**

4 **を押す**

ウケツケマシタ

5 **を押す**

パスワードを変更する

1 Menu/Set 1 7 を押す

7.セッテイロック

2 ▲▼を押して「パスワード　セッテイ」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

4 4桁の変更したい新しいパスワードを入力して Menu/Set を押す

5 新しいパスワードを再度入力する

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押す

設定ロックをOnにする

1 Menu/Set 1 7 を押す

7.セッテイロック

2 ▲▼を押して「On」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力する

4 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押す

設定ロックをOffにする

1 Menu/Set 1 7 を押す

7.セッテイロック

2 登録した4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

3 もう一度 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードガ　チガイマス」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へご連絡ください。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本機では、電話会社（NTT）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本機ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法については P.94 を参照してください。

補足

- ● 本機はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ● ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- ● IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- ● 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ● ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。P.10 を参照してください。
- ● 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1   を押す

```
6.ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
```

2 で電話番号の表示方法を選択する

「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

- 「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」を選択した場合、本機に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

```
On
```

3 を押す

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

4 停止/終了 を押す

注意

■「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」で使用する場合に本機を「自動切替モード」に設定すると、本機と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- お買い上げ時は、「Off」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本機で利用したいときは、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」、本機と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。
- 着信履歴リストを表示したり着信履歴リストを印刷するには、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にする必要があります。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本機と接続されている電話機で利用したいときは、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」、本機と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にしてください。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本機に残りません。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1   **を押す**

5.トクベツカイセン タイオウ

2 **で回線を選択する**

「イッパン」「ＩＳＤＮ」「ＰＢＸ」の中から選択します。

カイセン:イッパン

3 **を押す**

ウケツケマシタ

4   **を押す**

補足

- お買い上げ時は、「イッパン」に設定されています。
- 「ＰＢＸ」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送受信時間は遅くなりますが、「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。

1 **を押す**

0.アンシン ツウシン モード

2 **で回線を選択する**

「ヒョウジュン」「アンシン」の中から選択します。

ツウシン:ヒョウジュン

3 **を押す**

ウケツケマシタ

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご契約になっている会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本機側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

ファクス

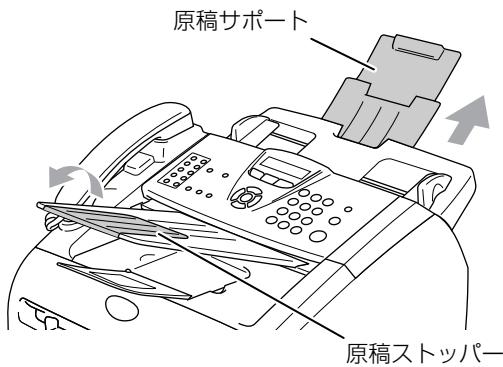
《ファクス送信》

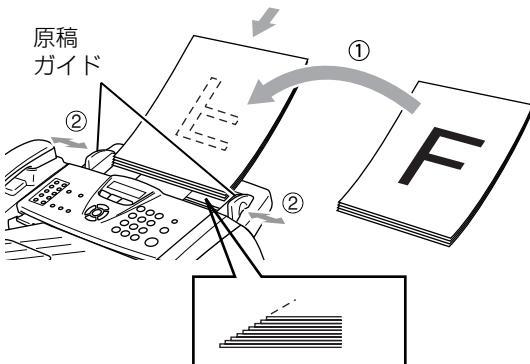
ファクスを送る

ファクスを自動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 ［Fax］ボタンが緑色に点灯していないときは［Fax］ボタンを押す

2 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿ストッパーを起こす

3 原稿の送信する面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に20枚までセットできます。

4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

5 相手先のファクス番号を入力する

6 ［スタート］を押す

補足

- 送信を途中で止めたいときは［停止/終了］を押し、［1］を押してください。
- ダイヤルのしかたは P.68 を参照してください。
- 「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本機のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。P.101 を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- 自動送信の場合、［スタート］を押したあとに受話器を取ったり、オンフックボタンを押したりしないでください。

注意

■原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは１枚づつ送信してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、相手先の受信音を確認してから送信します。

1 （Fax）ボタンが緑色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）原稿をセットする

3 受話器を取るか（オンフック/保留）を押して、相手先のファクス番号を入力する

4 相手先の受信音（ピー）を確認して（スタート）を押す

ファクスが送信されます。

5 受話器を戻す

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- （オンフック/保留）を押してダイヤルしたあと、送信先の相手の声が聞こえたら受話器を取ってください。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 （停止/終了）を押す

```
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

2 （1 ア）を押す

手動送信のとき

1 （停止/終了）を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 （スタート）を押す

4 受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

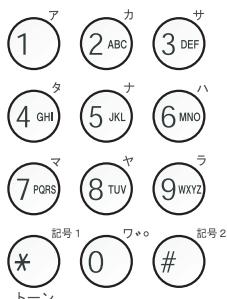
ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

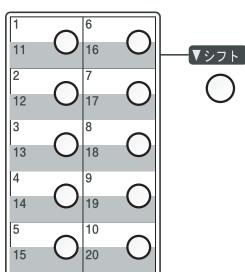
便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは20件登録できます。
11～20に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、▼シフト ○ を押しながらワンタッチボタンを押します。

補足

- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P.88 を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

電話帳/短縮 を押し、記号1 * トーン を押した後、登録されている短縮番号（001～200）を押してダイヤルします。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

- 短縮ダイヤルの登録のしかたは P.90 を参照してください。

電話帳を使用する

電話帳/短縮 を押し、▶を押すと五十音順に登録されている名前が表示されます。◀▶で検索してダイヤルします。

補足

- グループダイヤルの登録のしかたは P.92 を参照してください。
- 電話帳の作成のしかたは P.88 を参照してください。

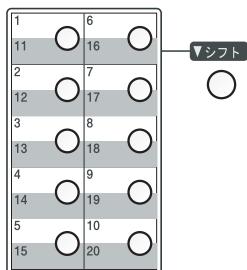
電話帳から送信する

あらかじめ電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

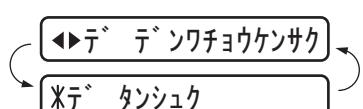
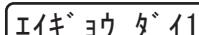
3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す

4 相手先の表示を確認して スタート を押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

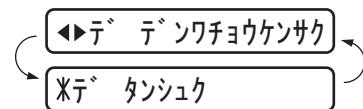
3 電話帳/短縮 を押す

◀▶デ゛ンワチョウケンサク
※デ゛ンシュク

4 記号 トーン を押して相手先の登録されている短縮番号（001～200）を押す

5 相手先の表示を確認して スタート を押す

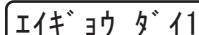
電話帳を検索して送信する

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 電話帳/短縮 を押す

4 探したい名前の最初の１文字を入力する

5 ◀ ▶ で目的の名前を検索する

ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1 ▶

6 相手先の表示を確認して スタート を押す

☞次ページへ続く

補足

- 入力した最初の1文字を含む50音順、アルファベット順で最初の相手先名称が表示されます。

「エ」から始まる名前が登録されていた場合

```
ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1 ▶
```

「エ」から始まる名前が登録されていなかった場合

```
ｵXXX ▶
```

- 登録されている名前は[▲▼]で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P.109 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P.152 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P.88 P.90 P.92 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 [Fax]ボタンが緑色に点灯していないときは[Fax]ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 [再ダイヤル/ポーズ]を押す

最後にかけた番号が表示されます。

4 [スタート]を押す

補足

- 自動再ダイヤルについて
  - 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
  - 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
  - 自動再ダイヤルを 3 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ｹｯｶ」の欄が「ｵｳﾄｳﾅｼ」または「ﾊﾅｼﾁｭｳ」であることを確認し、再度送信してください。
  - 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
  - 送信した内容が相手先に届いても、本機が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

ファクスの便利な送りかた

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 ファクス画質を押す

4 ▲▼で画質を選択してMenu/Setを押す

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力してスタートを押す

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 2を押す

2.ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ

4 ▲▼で画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

5 Menu/Setを押す

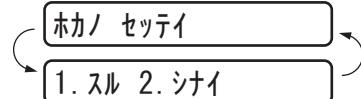
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 他の設定を続けるときは1を、終了するには2を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

7 相手先のファクス番号を入力してスタートを押す

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき
  - スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

《ファクス送信》

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ジドウ」に戻ります。

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 1 を押す

1.ゲンコウ ノウド

4 ▲▼で原稿濃度を選択する

「ジドウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

ゲンコウ ノウド:ジドウ

5 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して を押す

補足

● 原稿濃度は、以下の３種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- ジドウ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ウスク：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- コク　：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

1 Faxボタンが緑色に点灯していないときはFaxボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 7 を押す

7.ソウフショ

4 ▲▼で送付書の設定を選択してMenu/Setを押す

- 「コンカイノミ:On」「コンカイノミ:Off」「On」「Off」「プリント サンプル」の中から選択します。
- 「プリント サンプル」を選んだ場合：Menu/Setを押してスタートを押します。
- 「On」「コンカイノミ：On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「Off」「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

ソウフショ:On

5 ▲▼でコメントを選択してMenu/Setを押す

1.コメント ナシ

6 送信枚数を入力する

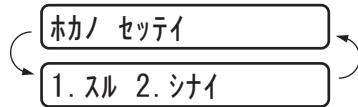
送信枚数は、「コンカイノミ：On」を選択した場合のみです。

マイスウ? :00

7 Menu/Setを押す

ウケツケマシタ

8 他の設定を続けるときは1を、終了するには2を押す

ホカノ セッテイ
1.スル 2.シナイ

9 相手先のファクス番号を入力してスタートを押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の4つの中から選んでください。
  - 「On」：毎回送付書をつける
  - 「Off」：毎回送付書をつけない
  - 「コンカイノミ：On」：今回のみ送付書をつける
  - 「コンカイノミ：Off」：今回のみ送付書をつけない
  - 「プリント サンプル」：プリントサンプルを出力する
- 手順5での送付書のコメントは下記の6種類の中から選べます。
  - 1.（コメント ナシ）
  - 2.オデンワ クダサイ
  - 3.シキュウ
  - 4.シンテン
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  2種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたはP.74 を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数は送付書に印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。P.88 を参照してください。

注意

■発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P.44 を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1 Menu/Set 2 2 8 を押す

8.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ

2 ▲▼でコメントを登録する箇所を選び、Menu/Set を押す

コメントは5か6に登録できます。

5.

3 コメントを入力して Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

補足

● コメントは 27 文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P.152 を参照してください。

同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。最大270ヶ所まで指定できます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 相手先のファクス番号を入力して Menu/Set を押す

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

- 例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

電話帳/短縮 * 0 0 1 Menu/Set を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して Menu/Set を押す

1件登録するごとに下の画面が表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5 すべての相手先を入力して スタート を押す

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「ｴﾗｰ」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は Menu/Set 2 ABC 6 MNO で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P.80 を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたら 停止/終了 を押して中止するか スタート を押して、読み込まれた分だけ送信してください。

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 ABC 2 ABC 5 JKL を押す

5.リアルタイム ソウシン

4 ▲▼でリアルタイム送信の設定を選択する

「コンカイノミ：On」「コンカイノミ：Off」「On」「Off」の中から選択します。

リアルタイム ソウシン：On

5 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

次ページへ続く

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 本機は通常、メモリー送信をしていますが、リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、タイマー送信の送信方法は原稿送信になり、メモリー送信を選択することができません。P.79 を参照してください。

相手の操作で原稿を送信する

標準ポーリング送信をする

相手側のファクシミリからの操作で、本機にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 6 を押す

6.ポ゚ーリング゙ ソウシン

4 ▲▼で「ヒョウジュン」を選択して Menu/Set を押す

ポ゚ーリング゙:ヒョウジ゙ュン

5 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択して Menu/Set を押す

1.ゲ゙ンコウ 2.メモリー

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ホカノ セッテイ
1.スル 2.シナイ

7 （スタート）を押す

手順5で（1）を選んだときは
原稿はそのままで「ポーリング　タイキチュウ」と表示されます。

手順5で（2）を選んだときは
原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは１回のみの送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときはP.80 を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うことができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。

1 （Fax）ボタンが緑色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 （Menu Set）（2）（2）（6）を押す

6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ

4 （▲▼）で「キミツ」を選択して（Menu Set）を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ

5 ４桁のパスワードを入力して（Menu Set）を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX

6 （1）（原稿送信）または（2）（メモリー送信）を選択して（Menu Set）を押す

1.ｹﾞﾝｺｳ 2.ﾒﾓﾘｰ

7 他の設定を続けるときは（1）を、終了するには（2）を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

8 （スタート）を押す

手順6で（1）を選んだときは
原稿はそのままで「ポーリング　タイキチュウ」と表示されます。

手順6で（2）を選んだときは
原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは１回のみの送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 ［Fax］ボタンが緑色に点灯していないときは［Fax］ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 ［Menu Set］［2 ABC］［2 ABC］［9 WXYZ］を押す

```
9.カイガイソウシン モード
```

4 ［▲▼］で「On」を選択する

```
カイガイソウシン:On
```

5 ［Menu Set］を押す

```
ウケツケマシタ
```

6 他の設定を続けるときは［1］を、終了するには［2 ABC］を押す

```
ホカノ セッテイ
1.スル 2.シナイ
```

7 相手先のファクス番号を入力して［スタート］を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから［スタート］を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 3 を押す

3.タイマー ソウシン

4 送信する時刻を入力して Menu/Set を押す

例：午後3時5分の場合は「1505」

シテイ ジコク=15:05

5 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択して Menu/Set を押す

1.ゲンコウ 2.メモリー

補足

● リアルタイム送信が「On」に設定されていると、原稿送信に設定されるため選択画面は表示されません。メモリー送信を選択するには、リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.75 を参照してください。

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

● タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。

● メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。

● 相手が話し中などで送信できなかったときは、５分おきに３回まで再ダイヤルします。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、１回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 Menu/Set 2 2 4 を押す

4.トリマトメ ソウシン

2 ▲▼で「On」を選択する

トリマトメ ソウシン:On

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 Menu/Set 2(カ) 6(ハ)を押す

6.ツウシン マチ カクニン

2 送信待ちが複数のときは▲▼で選択してMenu/Setを押す

- 送信待ちが1件のときは手順3に進みます。
- 確認のみのときは 停止/終了 を押します。

#001 12:34 スズキ

カイジョ 1.スル 2.シナイ

3 解除するときは1(ア)を押す

解除を中止するときは2(カ)を押します。

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- 送信待ちのファクスがないときには「ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1   **を押す**

```
5.ジドウ シュクショウ
```

2 **で「On」を選択する**

```
ジドウ シュクショウ:On
```

3 **を押す**

```
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう１枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「Off」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1   **を押す**

```
6.インサツ ノウド
```

2 **で印刷濃度を設定する**

▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

```
▼ −□□■□□+ ▲
```

3 **を押す**

```
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は中間に設定されています。

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します（メモリー代行受信）。
- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ）
- トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼｶﾞ　ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ　ﾏﾁｶﾞｲ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

注意

■メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、受話器を取る

2 「ポーポー」と音がしていたら スタート を押す

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、Fax を押してファクスモードにしてから スタート を押してファクスを受信します。

3 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては P.45 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約７秒間待つと自動でファクスを受信できます。P.83 を参照してください。
- 呼出回数を７～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを受信します。

リモート受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

- 親切受信を On に設定していると、本機はファクスを自動的に受信します。親切受信をOnに設定していない場合は、手順２を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本機に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

本機がファクス受信を始めます。

ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ

3 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本機に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、Menu/Set 2 1 4 で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。

手動受信するとき

1 **相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう**

補足

● 親切受信を On に設定していると、本機はファクスを自動的に受信します。親切受信をOnに設定していない場合は、手順２を行います。

2 **「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受話器を持ったまま** **を押す**

3 **受話器を戻す**

親切受信で受信する

受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま７秒待つと、自動的にファクスを受信します。

1 Menu/Set 2 1 3 **を押す**

2 **で「On」を選択する**

ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ:On

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 **を押す**

補足

受信時の操作

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

● 親切受信を「On」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシンチュウ」と表示されたら受話器を戻します。

● 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは スタート を押してください。

● 親切受信を「Off」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

● 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。

● 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、本機に接続されている電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。P.84 を参照してください。

● 親切受信機能は、受話器を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本機に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をOnに設定しているときは、本機に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。P.83を参照してください。
親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「Off」になっている場合、本機に接続されている電話機を操作してファクス受信をさせることができます。

1 本機に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を押す

本機がファクス受信を始めます。

ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ

2 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

補足

- リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本機に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、Menu/Set 2 1 4 で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。

リモート受信設定のしかた

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 Menu/Set 2 1 4 を押す

4.ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「On」を選択する

ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ:On

3 Menu/Set を押す

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51

4 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本機に接続されている電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本機の操作で相手の原稿を受信する

標準ポーリング受信する

本機からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

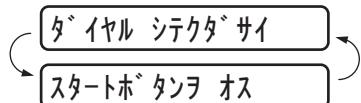
2 ▲▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

3 相手先のファクス番号を入力する

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

4 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- ポーリング受信の場合、通話料はこちらの負担となります。

順次ポーリング受信する

1回の操作で、最大270ヶ所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

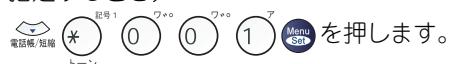
2 ▲▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して Menu/Set を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

- 例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

電話帳/短縮 ＊ 0 0 1 Menu/Set を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して Menu/Set を押す

5 すべての相手先を入力して スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

☞次ページへ続く

機密ポーリング受信する

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

1 Menu/Set 2ABC(カ) 1(ア) 7PQRS(マ) **を押す**

ﾌﾟ7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「キミツ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ

3 4桁のパスワードを入力する

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX

4 Menu/Set **を押す**

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足

● 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 Menu/Set 2ABC(カ) 1(ア) 7PQRS(マ) **を押す**

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「ﾀｲﾏｰ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾀｲﾏｰ

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ:15:15

4 Menu/Set **を押す**

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足

● 時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P.80 を参照してください。

3章

電話帳

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

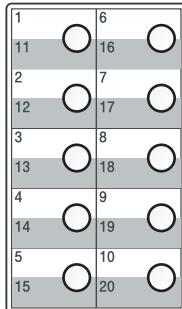
《電話帳》

電話帳を作成する

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1～20（最大20件）に登録することができます。

1 **を押す**

2 登録するワンタッチボタンを押す

- 11～20に登録するときは、▼シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して Menu Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

#001:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ﾅﾏｴ:

5 Menu Set を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返しします。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 停止/終了 を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に 記号1 トーン を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは▶（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.152 を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.109 を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.73 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2 3 1 を押す

1.デンワチョウ/ワンタッチ

2 変更するワンタッチボタンを押す

登録されている内容が表示されます。

#005:スズキ ケイコ

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1 を押す

変更しないときは、2 を押します。

#005:03XXXXXXXX

4 新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

5 新しい相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押す

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

● 手順3で 1 を押した後、停止/終了 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1   **を押す**

2.デ゛ンワチョウ/タンシュク

2 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu Set を押す

- 001～200の間で入力します。（例：００５）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して Menu Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

*005:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ナマエ:

5 Menu Set を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返します。

ウケツケマシタ

6 停止/終了 **を押す**

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に（＊ 記号1 トーン）を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▷を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは▷（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.152 を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、（再ダイヤル/ポーズ）を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.109 を参照してください。

注意

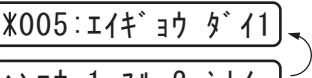
■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.73 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2ABC 3DEF 2ABC **を押す**

2.デ゛ンワチョウ/タンシュク

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu/Set を押す**

登録されている内容が表示されます。

※005:エイギ゛ョウ ダ゛イ1

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1 **を押す**

変更しないときは、2ABC を押します。

※005:03XXXXXXXX

4 **新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す**

電話番号は20桁まで入力できます。(カッコは登録できません。)

5 **新しい相手先の名前を入力する**

名前は15文字まで登録できます。

6 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

7 停止/終了 **を押す**

補足

短縮ダイヤルを削除するには

- 手順3で 1 を押した後、停止/終了 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

グループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を、1グループとしてまとめて登録できます。グループダイヤルとして登録し、同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。P.74 、P.85 を参照してください。

注意

■グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

■グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

1 Menu/Set 2 3 3 を押す

```
3.デンワチョウ/グループ
```

2 グループダイヤルとして使用するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  電話帳/短縮 を押して短縮番号（001 ～ 200）を入力し、Menu/Set を押します。

3 グループ番号をダイヤルボタンで1～8を入力して Menu/Set を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオシテ　クダサイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

```
グループ ダイヤル:G01
```

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例：ワンタッチダイヤル：［5］、短縮ダイヤルを 電話帳/短縮 0 0 9 と入力した場合

```
G01:#005*009
```

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力して Menu/Set を押す

6 グループ名を入力する

グループ名は15文字まで登録できます。

```
ナマエ:
```

7 Menu/Set を押す

```
ウケツケマシタ
```

8 停止/終了 を押す

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大219件まで登録できます。
- グループダイヤルは8グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- ワンタッチダイヤルの11～20を登録するときは、▼シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 文字入力のしかたについてはP.152 を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P.109 を参照してください。

グループダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2 ABC 3 DEF 3 DEF **を押す**

3.デ゛ンワチョウ/グ゛ループ゜

2 **変更するグループダイヤル番号を入力する**

- **ワンタッチボタンに登録されているとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録されているとき**
  電話帳/短縮 を押して短縮番号（001 ～ 200）を入力し、Menu/Set を押します。

G01:エイギ゛ョウ

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1 **を押す**

変更しないときは、2 ABC を押します。

G01:#005※009

4 **変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して Menu/Set を押す**

5 **グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力する**

変更しない場合はそのまま Menu/Set を押します。

6 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

7 停止/終了 **を押す**

補足

グループダイヤルを削除するには

● 手順3で 1 を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で 停止/終了 を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。
- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する P.110

着信履歴を確認する

1 シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押す

05)052XXXXXXX

2 で確認する

02)03XXXXXXXX

3 Menu Set を押す

詳細情報が表示されます。

02)03XXXXXXXX
02/24 15:01

4 停止/終了 を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押す

05)052XXXXXXX

2 で電話番号を選択して Menu Set を押す

02)03XXXXXXXX
02/24 15:01

3 もう一度 Menu Set を押す

4 1「1.デンワチョウ／ワンタッチ」または 2 ABC「2.デンワチョウ／タンシュク」を押す

5 相手先の名前を入力して Menu Set を押す

- 名前は15文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「トウロクガ　イッパイデス」と表示されたあと、手順２に戻ります。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

補足

● 「ソトヅケデンワ　ユウセン」でご使用の場合は、着信履歴が本機に接続されている電話機に残りますので、本機で着信履歴を利用することはできません。

4章

転送・リモコン機能

転送機能

リモコン機能

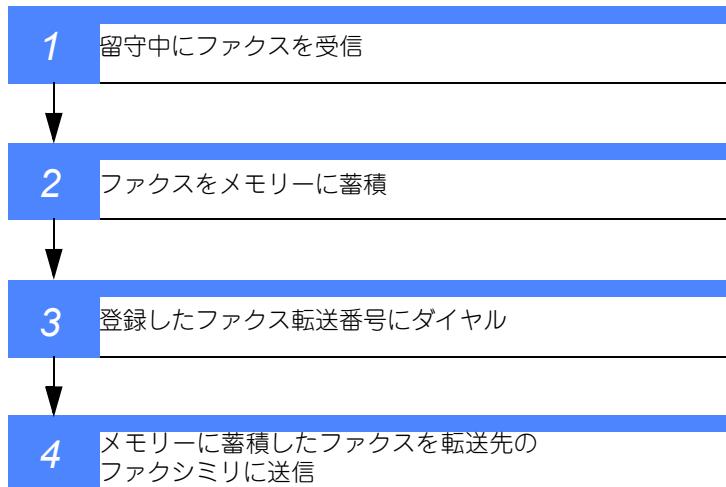
《転送機能》

電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。

注意

■電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

1   **を押す**

`1.テンソウ/メモリージュシン`

2 **で「ファクス　テンソウ」を選択して** **を押す**

`ファクス　テンソウ`

3 **転送先番号（転送先の電話番号）を入力して Menu Set を押す**

4 **で設定を選択する**

- 「ホンタイデモ　インサツ　スル」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本機で印刷します。
- 「ホンタイデハ　インサツ　シナイ」：
  受信したファクスを転送するだけで、本機で印刷しません。

`ホンタイデモ　インサツ　スル`

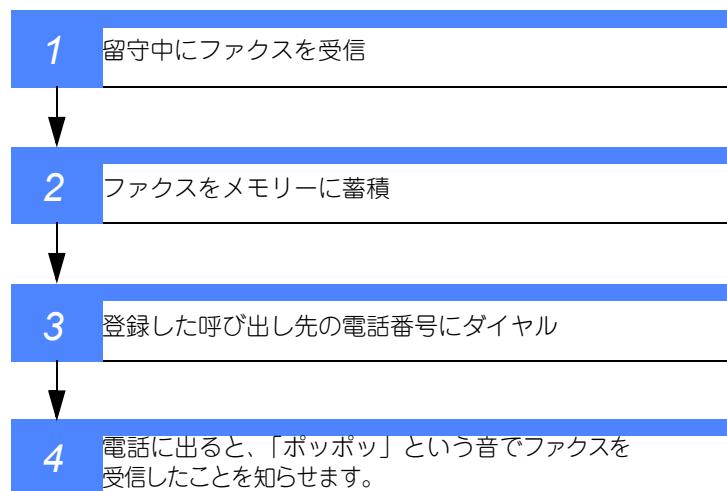
5 **を押す**

`ウケツケマシタ`

6 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P.105 を参照してください。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能の流れ

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 Menu/Set 2ABC(カ) 5JKL(ナ) 1(ア) を押す

1.テンソウ/メモリージュシン

2 ▲▼で「デンワ　ヨビダシ」を選択して Menu/Set を押す

デンワ ヨビダシ

3 呼び出し先番号を入力する

4 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。P.105 を参照してください。

注意

■電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスをメモリーで受信する

受信したファクスを本機のメモリーに蓄積して転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1 **を押す**

1.テンソウ/メモリージ゛ュシン

2 **で「メモリー　ジュシン」を選択する**

メモリー　シ゛ュシン

3 **を押す**

ウケツケマシタ

4 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大400ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「Off」にすると「ファクス　ショウキョ？」「1.スル　2.シナイ」が交互に表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、(2)を押してください(1)を押すとメモリーから消去されます。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1   **を押す**

3.ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ

2 スタート **を押す**

印刷を開始します。

ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

3 **印刷終了後** 停止/終了 **を押す**

補足

● メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「ﾃﾞｰﾀｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本機を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本機を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

1 **を押す**

2.ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

2 **暗証番号を入力する**

ダイヤルボタンで３桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた４桁の番号になります。）

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ:---＊

3 **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 **を押す**

補足

● 暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本機を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本機を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 **外出先のファクシミリから本機にダイヤルする**

2 **本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋＊）を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する**

補足

● リモコンコードは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。P.104 を参照してください。

4 **リモコンアクセスを終了するときは、⑨⓪を入力する**

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本機が応答すると、約４秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。メモリー受信については、P.100 を参照してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本機が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付留守電モードのとき**
    本機に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本機に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- １つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本機を下記のように操作することができます。

機　　　　　能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 外出先のファクシミリから本機にダイヤルする

2 本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋＊）を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、962を押す

4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に#を2回押す

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 外出先のファクシミリから本機にダイヤルする

2 本機が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋＊）を入力する

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、954を押す

4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に#を2回押す

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 「ピー」という応答音が聞こえたら、90を押して受話器を戻す

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、#を1回押します。#を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

5章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本機では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。
7	ご注文シート	トナーカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのシートを印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

■電源スイッチを Off にしたまま 3 ～ 4 日放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「1.ソウシン　レポート」を選択する

1. ソウシン　レポート

3 Menu Set を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「2.キノウアンナイ」を選択する

2. キノウアンナイ

3 Menu Set を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「3.デンワチョウ　リスト」を選択する

3. デンワチョウ　リスト

3 Menu Set を押す

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「4.ツウシン　カンリ　レポート」を選択する

4. ツウシン　カンリ　レポート

3 Menu Set を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「5.ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ　ﾘｽﾄ」を選択する

5. ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ　ﾘｽﾄ

3 Menu Set を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「6.ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ　ﾘｽﾄ」を選択する

6. ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ　ﾘｽﾄ

3 Menu Set を押す

ご注文シートを印刷する

トナーカートリッジやドラムユニットなどの消耗品をファクスで注文するときのシートを印刷します。P.173 を参照してください。

1 レポート を押す

2 で「7.ｺﾞﾁｭｳﾓﾝ　ｼｰﾄ」を選択する

7. ｺﾞ ﾁｭｳﾓﾝ　ｼｰﾄ

3 Menu Set を押す

送信レポートの出力設定

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 を押す

1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

2 で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「On」「On＋イメージ」「Off」「Off＋イメージ」の中から選択します。

ｿｳｼﾝ:Off+ｲﾒｰｼﾞ

3 を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off+イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の4種類の中から選択します。
  On:送信後に毎回自動的に印刷します。
  On+イメージ:「On」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
  Off :通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  Off+イメージ:「Off」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
- リアルタイム送信時には画像は表示されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 を押す

2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾝｶｸ

2 で間隔を設定して を押す

- 「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」「50 ｹﾝ ｺﾞﾄ」「6 ｼﾞｶﾝｺﾞﾄ」「12 ｼﾞｶﾝｺﾞﾄ」「24 ｼﾞｶﾝｺﾞﾄ」「2 ｶ ｺﾞﾄ」(2日ごと)「7 ｶ ｺﾞﾄ」(7日ごと)の中から選択します。
- 「7 ｶ ｺﾞﾄ」を設定したときは、曜日を で選択して を押してください。

50 ｹﾝ ｺﾞﾄ

3 開始時間を入力する

開始時間は、「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」「50 ｹﾝ ｺﾞﾄ」以外を選択した場合のみです。

ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:00:00

補足

- 通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5 を押す

補足

- お買い上げ時は、「50 ｹﾝ ｺﾞﾄ」に設定されています。
- 「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」に設定したときは、必要なときに印刷することができます。 P.109 を参照してください。

コピー

コピーをする

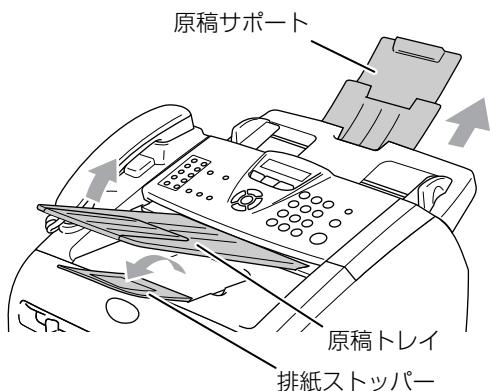
コピー設定

《コピーをする》

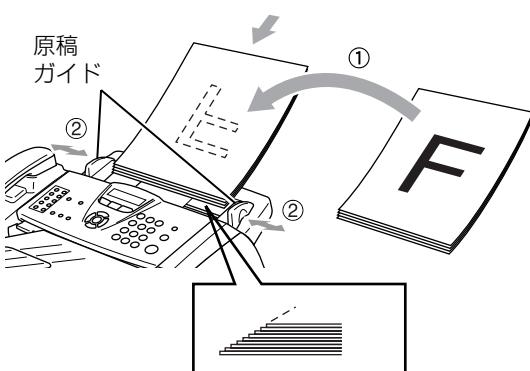
コピーをする

コピーする

1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押す

2 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起こす

3 原稿のコピーする面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に20枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

4 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときはP.118を参照してください。

5 を押す

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときはP.123を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。

注意

■原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは 1 枚づつセットしてください。

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本機内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

このときは、停止/終了を押すとコピーがキャンセルされます。

以下の方法でコピー時に使用できるメモリーを確保してください。

メモリーに受信したファクスを印刷します。P.101 を参照してください。

補足

- 「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンが緑色に点灯していないときは Copy ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲▼で「カクダイ／シュクショウ」を選択して Menu Set を押す

5 ▲▼で倍率を選択する

100%

倍率は以下の中から選択します。
- 100%
- 115%　B5→A4
- 141%　A5→A4
- 200%
- ジドウ
- カスタム
（50%～200%：ダイヤルボタンで入力）
- 50%
- 70%　A4→A5
- 82%　B4→A4
- 87%　A4→B5
- 91%　フルページ
- 94%　A4→USレター
- 97%　USレター→A4

6 Menu Set を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（50％～200％）を入力して Menu Set を押してください。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

7 スタート を押す

補足
- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- 原稿サイズがB4のとき「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択したときは、記録紙トレイにセットされているサイズに縮小されます。

コピーの画質を設定する

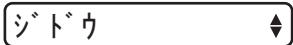
画質を変えてコピーすることができます。

1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

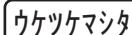
3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、で「コピー ガシツ」を選択して Menu Set を押す

ジドウ

5 で印刷するコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

6 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

コントラストを調整する

コピーのコントラストを変えることができます。

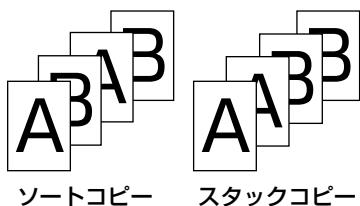
1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、で「コントラスト」を選択して Menu Set を押す

5 で印刷するコピーのコントラストを調整する

6 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

ソートコピーかスタックコピーかを設定する

1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、 で「スタック／ソート コピー」を選択して Menu Set を押す

スタック/ソート コピー

5 で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択する

スタックコピー

6 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

補足

● お買い上げ時は、「スタックコピー」に設定されています。

● コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

■原稿の読み込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときはP.115を参照してください。

■メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

〈2 in 1（タテナガ）〉

〈2 in 1（ヨコナガ）〉

〈4 in 1（タテナガ）〉

〈4 in 1（ヨコナガ）〉

N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 コピーボタンが緑色に点灯していないときはコピーボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1～99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプションを押し、▲▼で「レイアウト コピー」を選択してMenu/Setを押す

レイアウト コピ゜ー

5 ▲▼で希望するレイアウトを選択する

「2in1（タテナガ）」「2in1（ヨコナガ）」「4in1（タテナガ）」「4in1（ヨコナガ）」の中から選択します。

2in1 （タテナガ゛）

6 Menu/Setを押す

ウケツケマシタ

7 スタートを押す

原稿の読み取りが終わるとコピーが開始されます。

補足

● N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合はP.116を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 1 を押す

1.コピー ガシツ

2 ▲▼で画質を選択する

「テキスト」「シャシン」「ジドウ」の中から選択します。

ガシツ:ジドウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

コントラスト設定を変更する

「コントラスト」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 2 を押す

2.コントラスト

2 ▲▼でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

▼ −□□■□□+ ▲

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は中間に設定されています。

7章

こんなときは

《日常のお手入れ》

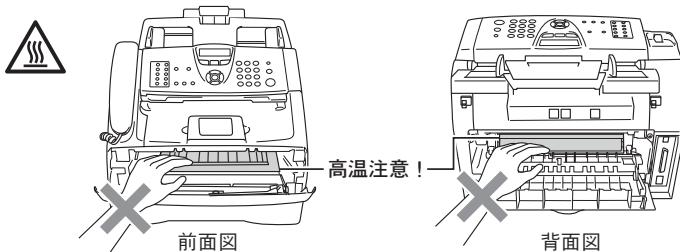
紙づまりについて

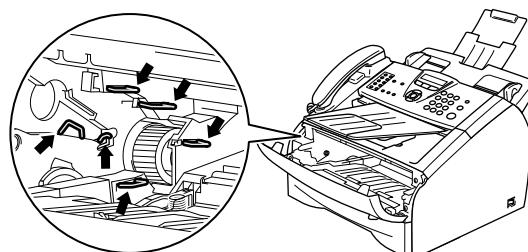
紙づまりのときのメッセージ

紙づまりのときは、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき P.123 を参照してください。	**ゲンコウカ゛　ツマッテイマス**
記録紙がつまったとき P.123 を参照してください。	**キロクシカ゛　ツマッテイマス**

注意

■本機の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本機のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源をONにしたまま10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが散乱することがあります。

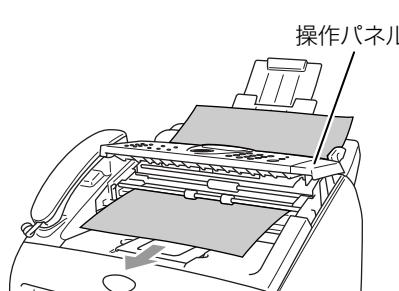
■本機の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本機が破損することがあります。

ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

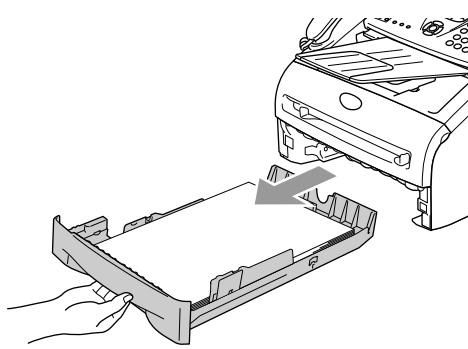
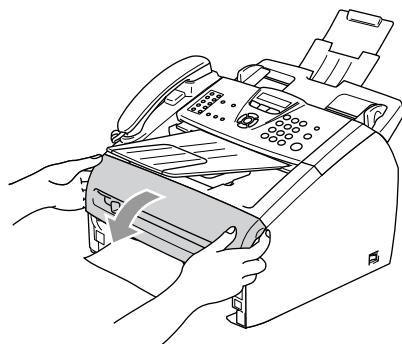
2 操作パネルを開く

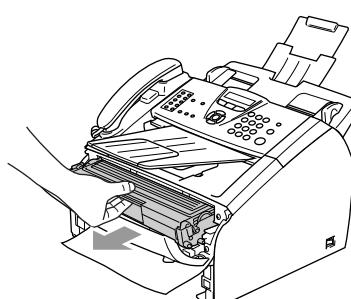
3 つまった原稿を手前に引いて取り除く

4 操作パネルを閉じる

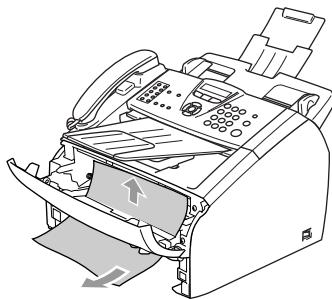
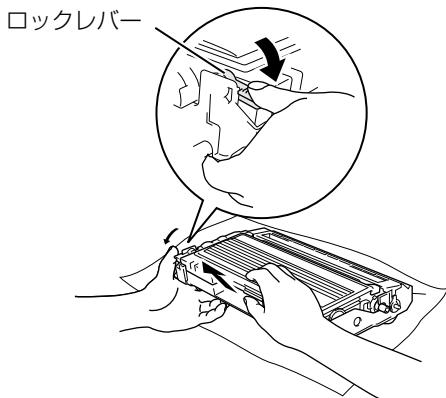
5 停止/終了 を押す

前面に記録紙がつまったときは

1 本機の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 記録紙トレイを完全に引きだす

3 フロントカバーを開く

4 ドラムユニットを本機から取り出す

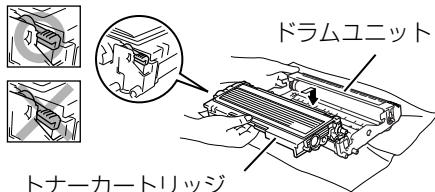
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。
もし、ドラムユニットが簡単に引き出せないときは、無理に引き出さないでください。

☞ 次ページへ続く

5 つまった記録紙を取り除く

破らないようにゆっくりと引き出してください。

6 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

7 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

つまった記録紙があるときは、取り出します。

8 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

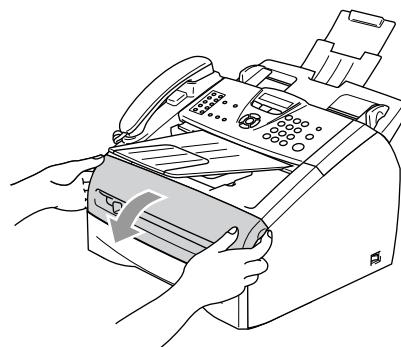
このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

9 本機にドラムユニットを取り付ける

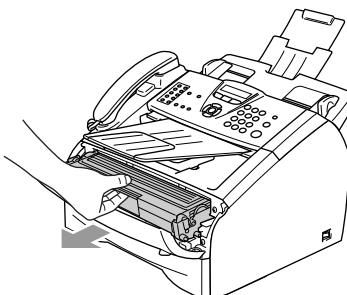
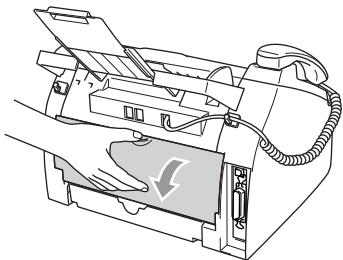
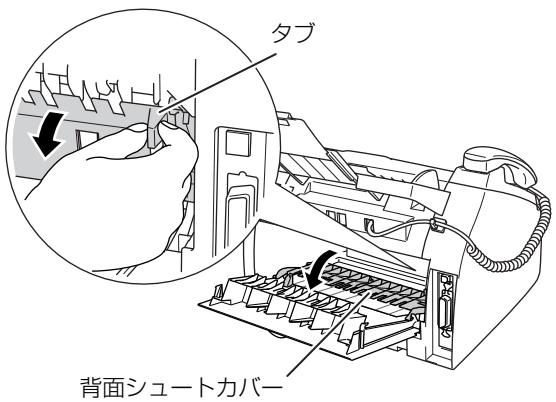
10 フロントカバーを閉じる

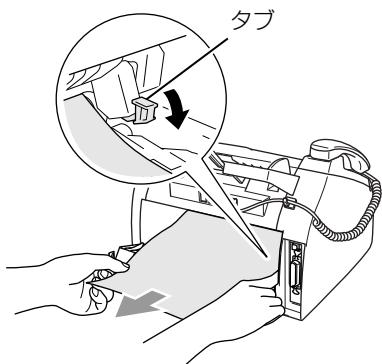
11 記録紙トレイを本機に戻す

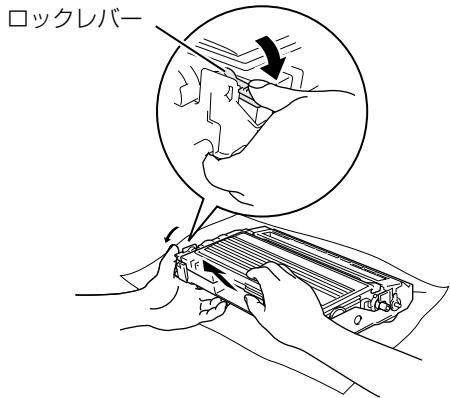
背面に記録紙がつまったときは

1 本機の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを本機から取り出す

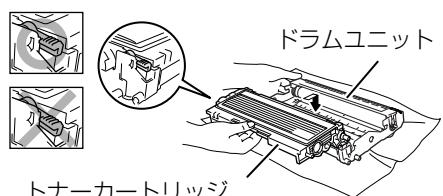
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 バックカバーを開く

5 タブをつまみ、背面シュートカバーを開く

6 つまった記録紙を引き出す

簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらず、片方の手で青色のタブを押し下げ、もう一方の手でつまった記録紙をゆっくり引き抜いて取り除きます。

7 バックカバーを閉じる

8 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

9 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

つまった記録紙があるときは、取り出します。

10 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

11 本機にドラムユニットを取り付ける

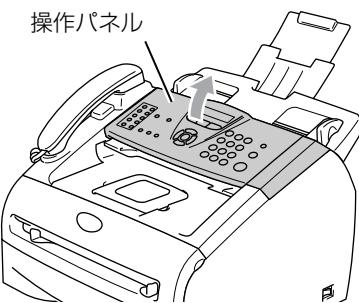
12 フロントカバーを閉じる

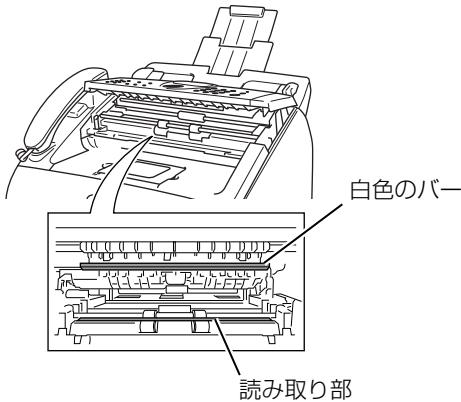
《日常のお手入れ》

定期メンテナンス

スキャナ（読み取り部）の清掃

いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。
送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

1　操作パネルを開く

2　柔らかい布に OA クリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭く

- 読み取り部
- 白色のバー

補足

● 無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどをご使用ください。

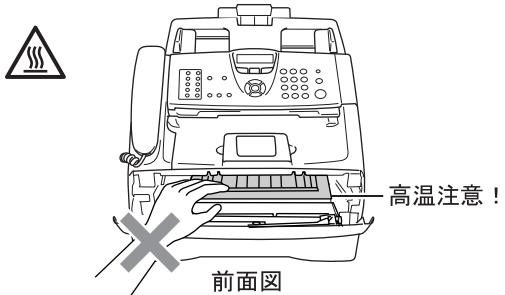
3　操作パネルを閉じる

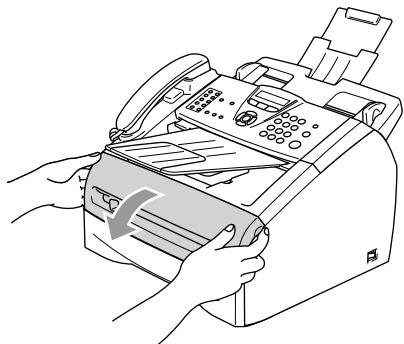
注意

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

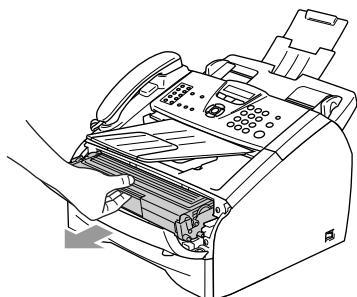
スキャナウィンドウの清掃

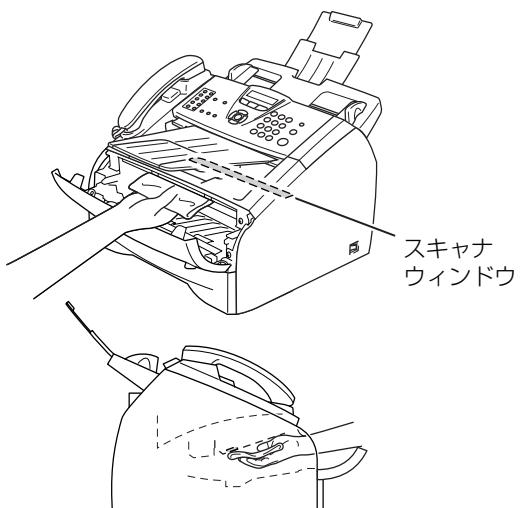
注意

■本機の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本機のフロントカバーを開けたときは、電源をOFFにしてから10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

■スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを本機から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをきれいに拭く

スキャナウィンドウが汚れると、薄い印刷になります。

5 本機にドラムユニットを取り付ける

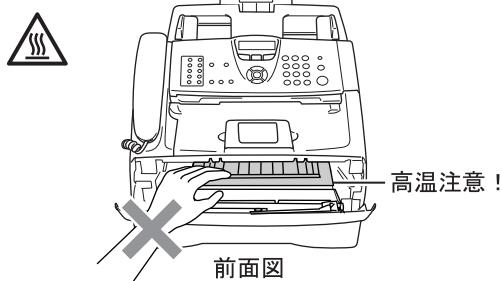
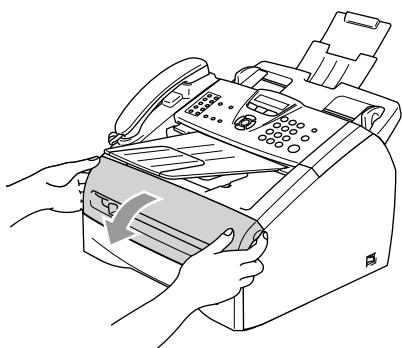
6 フロントカバーを閉じる

7 電源スイッチをONにする

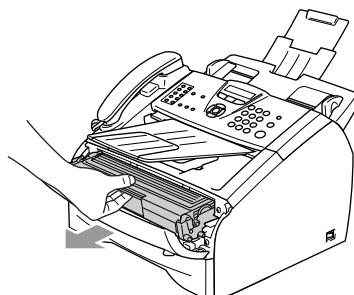
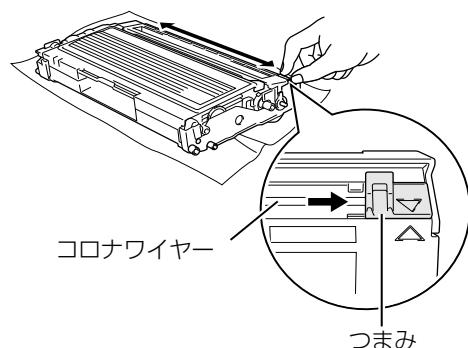
ドラムユニットのお手入れ

以下の操作でコロナワイヤーの清掃を行ってください。

注意

■本機の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本機のフロントカバーを開けたときは、電源をOFFにしてから10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを本機から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する

5 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

6 本機にドラムユニットを取り付ける

7 フロントカバーを閉じる

8 電源スイッチをONにする

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本機はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

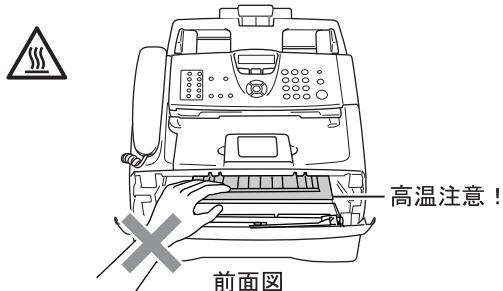
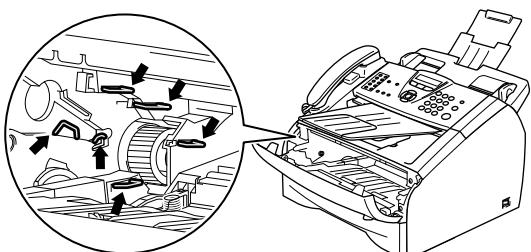
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚﾃﾞｽ」のメッセージが表示されてから約 100 ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ／印刷密度５％の場合）
  トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本機も掃除することをお勧めします。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

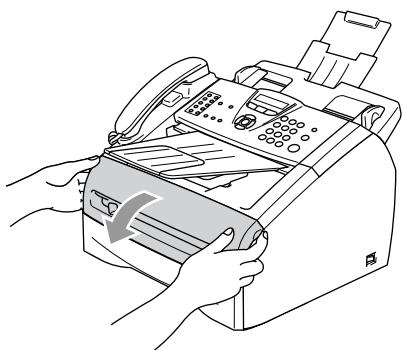
注意

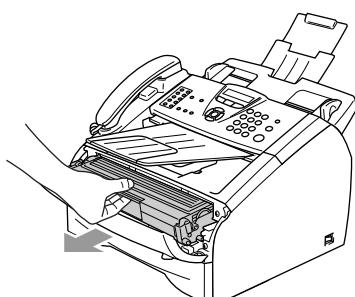
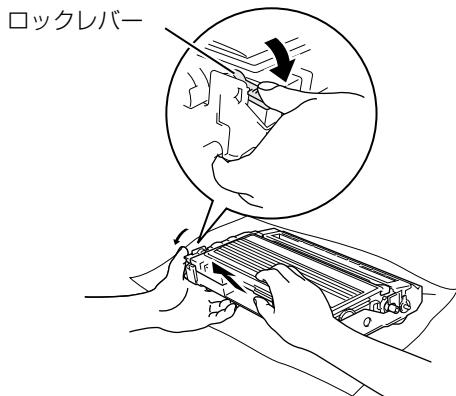
- ■トナーカートリッジは、本機に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- ■トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-25J）をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本機の保証が無効になります。
- ■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。
- ■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- ■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- ■本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のフロントカバーを開けたときは、電源をONにしたまま10分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

- ■本機の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本機が破損することがあります。

トナーカートリッジ交換のしかた

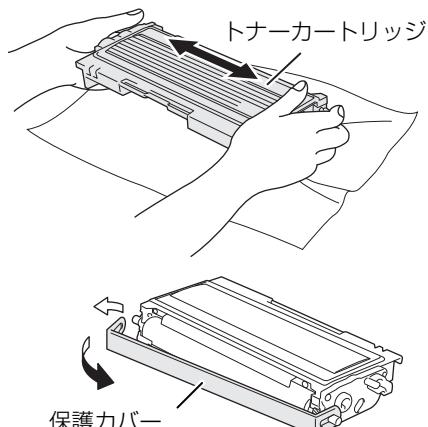
警告

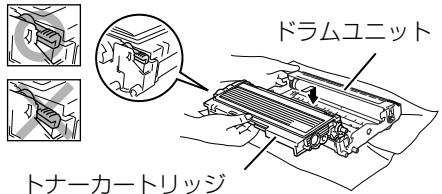
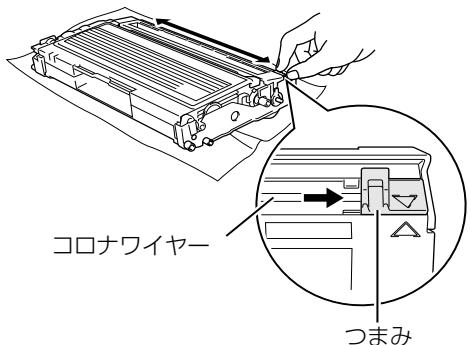
トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

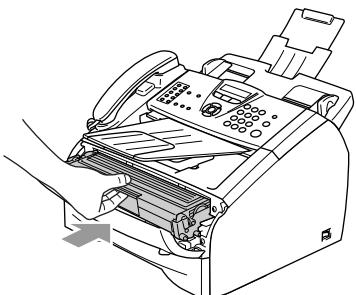
1 本機の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを本機から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、古いトナーカートリッジを取り出す

5 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

6 トナーカートリッジを左右に５、６回ゆっくりと振ってから、黄色の保護カバーを取り除く

7 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

8 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する

9 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

10 本機にドラムユニットを取り付ける

11 フロントカバーを閉じる

《日常のお手入れ》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注意

■ドラムユニットは本機に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-20J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本機の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ドラムユニットを交換した後は、本機をきれいに清掃してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

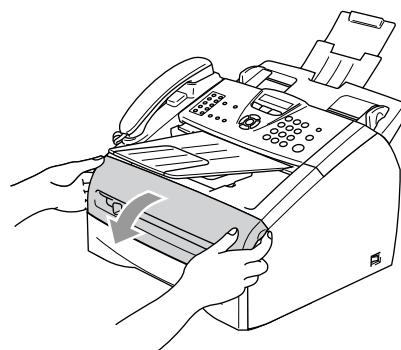
補足

● 液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

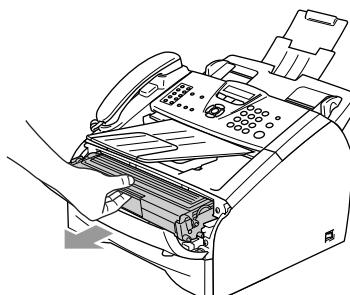
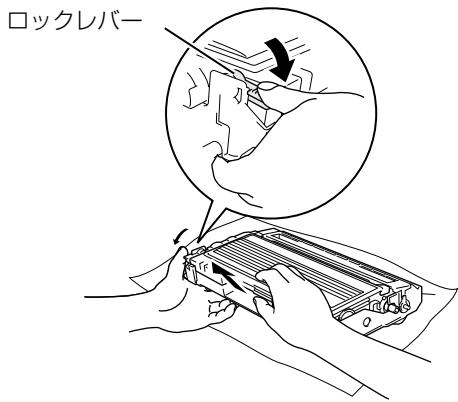
●「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本機も掃除することをお勧めします。P.126 を参照してください。

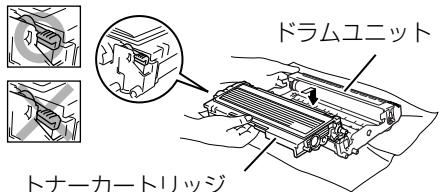
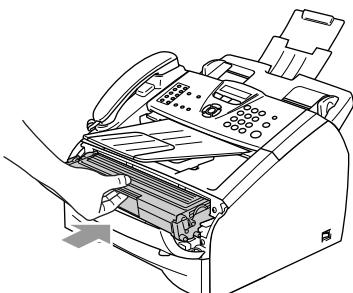
ドラムユニット交換のしかた

1 本機の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

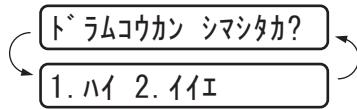
3 ドラムユニットを本機から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

5 新しいドラムユニットを開封して取り出す

6 トナーカートリッジを、新しいドラムユニットに装着する

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

7 本機にドラムユニットを取り付ける

8 フロントカバーが開いていることを確認する

9 オプション を押す

ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾏｼﾀｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

10 1 を押す

液晶ディスプレイに「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

11 フロントカバーを閉じる

《製品情報》

製品情報

シリアル番号を確認する

本機のシリアル番号を確認します。

1 Menu/Set 4 GHI（タ） 1（ア） を押す

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本機は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 Menu/Set 4 GHI（タ） 2 ABC（カ） を押す

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス/リスト」のカウンタ値が表示されます。

2.ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ

2 ▲▼ で表示する項目を選択する

ｺﾞｳｹｲ :XXXXXX

ｺﾋﾟｰ :XXXXXX

ﾌﾟﾘﾝﾀ :XXXXXX

ﾌｧｸｽ/ﾘｽﾄ :XXXXXX

3 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

ドラム寿命を確認する

ドラム寿命は、以下の操作で確認できます。

1 Menu/Set 4 3 を押す

液晶ディスプレイに２秒間、ドラム寿命が表示されます。

ノコリ： XX%

補足

- 「０％」と表示されても、印刷することができますが、早目にドラムユニットを交換してください。
- ドラムユニットは消耗品のため、定期的に交換する必要があります。
  実際のドラム寿命は温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など、多くの要因に影響されます。表示されたドラム寿命は目安とお考えください。

2 ドラム寿命を確認して 停止/終了 を押す

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。

一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

●液晶ディスプレイにエラーが表示される。……P.137

●トラブルの原因が分からない。……P.140

●本機の詳しい仕様が知りたい。……P.159

●用語が分からない。……P.165

●消耗品を注文したい。……P.110 P.173

それでも問題が解決しないときは

お客様相談窓口
（ブラザーコールセンター）**0120-143-410**へご連絡ください。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｱﾀﾗｼｲﾄﾅｰﾃﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾀﾞｼﾃ ﾓｳｲﾁﾄﾞ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本機に何らかの異常が発生した。	電源スイッチを Off にします。もう一度、電源スイッチを On にしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間 Off のままにした後、もう一度、On にしてみてください。
ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ ﾏﾀﾊ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ﾄ ﾊｲﾒﾝｼｭｰﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	バックカバーが完全に閉じていないか、本機の背面で記録紙がつまっています。記録紙がつまっている場合、カバーが閉じていてもこのメッセージが表示されます。	バックカバーを閉め直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、つまった記録紙を取り除いてください。P.124 を参照してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
ｷﾛｸｴﾗｰ ｶｲﾌｸﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっている。	冷えるまで約20分お待ちください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ｷﾛｸｼﾄﾚｲ ｦ ﾋｷﾇｲﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイで紙がつまっています。	P.122 を参照してください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ﾄ ﾊｲﾒﾝｼｭｰﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本機の背面で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本機の内部で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ A4ｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙サイズが間違っています。	A4サイズの記録紙をセットして スタート を押してください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイに用紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットして スタート を押してください。
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。	操作パネルを開け、原稿を取り除いて 停止/終了 を押してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本機に何らかの異常が発生した。	電源スイッチをOffにします。もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度、Onにしてみてください。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	スキャナ（読み取り部）に何らかの異常が発生した。	
	本機に何らかの異常が発生した。	
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	相手との通信が切断された。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。P.140 を参照してください。 特定の相手で発生する。P.64 を参照してください。
	相手がポーリングモードに設定していなかった。	相手先のポーリング設定を確認してください。
ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ	印刷するデータがメモリーに残っています。	停止/終了 を押して、もう一度やり直してください。
	パソコンと本機のデータを転送中に接続されているケーブルが外された。	
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録されていない。	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルを登録してくだい。P.88 、P.90 を参照してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲﾄﾅｰ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
	トナーがありません。	トナーカートリッジを交換してください。P.129 を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ﾄﾘﾀﾞｼ ﾄﾞﾗﾑ ﾉ ｱｵｲ ﾂﾏﾐｦ ｻﾕｳﾆ ｵｳﾌｸ ｻｾﾃｸﾀﾞｻｲ ﾂﾏﾐ ｦ (▲)ﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｶﾗ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	コロナワイヤ（ドラムユニット）が汚れています。	コロナワイヤーを掃除してください。 P.128 を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。P.132 を参照してください。
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。P.140 を参照してください。 特定の相手で発生する。P.64 を参照してください。
ﾋｰﾀｰｶﾞ ｺｳｵﾝﾃﾞｽ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本機の内部が高温になっている。	排気口が塞がれていないか確認してください。本機から20cm以内に障害物があれば取り除いて、電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。
	定着ユニットが高温になっている。	
ﾋｰﾀｰｶﾞ ﾃｲｵﾝﾃﾞｽ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	定着ユニットが低温になっている。	電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ	トナーの残りが少ない。	新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリーがいっぱいです。	メモリーに蓄積してあるデータを消去してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** スタート を押してスキャンしたページを送信もしくはコピーしてください。または、停止/終了 を押してからもう一度、試してみてください。 **プリント中のとき** 解像度を下げてからもう一度、試してみてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）のQ&A をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口(ブラザーコールセンター)0120-143-410へご連絡ください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.10 を参照してください。
		本機の設定が正しくされていますか。	本機の設定内容を確認します。P.62 を参照してください。
		NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。
ISDN回線※	電話を受けても本機のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されているか確認します。	確実に本機に接続します。かんたん設置ガイド P.8 を参照してください。
		本機の電源スイッチが On になっていますか。	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	１～２回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、１～２回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	本機を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 • ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	相手側ターミナルアダプタの設定を確認します。	相手もISDN回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へご連絡ください。
	NTTのナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認します。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。P.10 を参照してください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでお買い求めになれます。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		
	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。P.42 を参照してください。
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイが動作しない。	VoIPアダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIPアダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信が出来ない。	VoIPアダプタ側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	

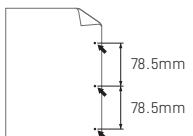
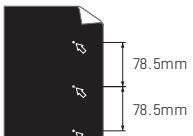
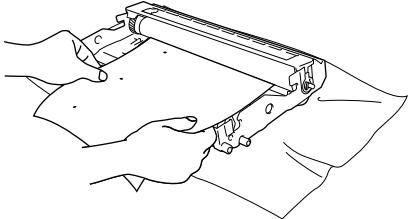
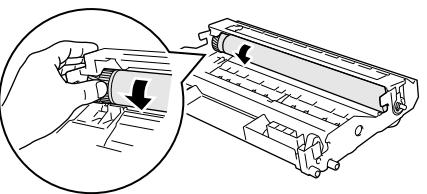
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本機をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P.64 を参照してください。
ファクス／コピー	原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	操作パネルをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用します。P.33 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	複写機でコピーしてからファクスをします。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。P.123 を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせます。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。P.123 を参照してください。
	スタート を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。かんたん設置ガイドP.8 を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		本機に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本機に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。P.41 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認します。
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃します。P.126 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。P.71 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.10 を参照してください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本機のスキャナが汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信します。P.126 を参照してください。それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。
	リモート起動できない。	リモート起動の設定は「On」になっていますか。	リモート起動番号を「On」にします。P.84 を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.84 を参照してください。
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。P.80 、P.101 を参照してください。
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。かんたん設置ガイド P.7 を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本機内部を確認します。P.122 を参照してください。
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認します。かんたん設置ガイド P.7 を参照してください。
		フロントカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉めなおします。
	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃します。P.126 を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	正常なときは相手側のファクススキャナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリを確認してもらってください。
	本機が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本機の「ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていませんか。	本機の「ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本機は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。停止/終了 を押します。「ｼﾝｾﾂｼﾞｭｼﾝ」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。P.81 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。
	受信時に本機が応答しない。	本機が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。
		オンフック/保留 をおして発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
		可能であれば、本機にダイヤルしてみてください。	本機を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	本機に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本機と接続されている電話機と本機の電話機コードは正しく接続されていますか。	本機に接続されている電話機が本機の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	送信確認レポートで「ｹｯｶ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本機のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。 P.126 を参照してください。
		画質の設定が適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。
	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本機のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。 P.126 を参照してください。
		相手側のファクシミリの印字ヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリを確認してもらってください。コピーをとって、本機が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、呼び出し音を鳴らします。	受話器を取ってお話しください。
	ファクスを本機に転送できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷結果がかすれる。 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	トナー節約モードが「On」になっていませんか。	トナー節約モードを「Off」に設定してください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。 P.129 を参照してください。
	印刷の質が悪い。		
	本機が印刷をしない。	本機の電源スイッチがOnになっていますか。	電源スイッチがOnになっているときは、電源コードを確認してください。
		トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。
		プリンタケーブルが正しく接続されていますか。	プリンターケーブルを正しく接続してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	本機のコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。 P.128 を参照してください。
	本機で印刷できない。	本機と接続されていますか。	本機が接続されているか確認します。インタフェースケーブルが本機とパソコン間が確実に接続されているか確認します。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。
		トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットが適切取り付けられているか確認してください。
	本機に給紙できない。	液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給します。記録紙トレイの記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認します。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにします。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの用紙の枚数を減らしてもう一度試してください。
	使用できる記録紙サイズ。	普通紙、OHP フィルムなどを使用できます。P.33 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法。	P.122 を参照してください。	
	コピーに縦の縞が現れる。	読み取り部と白色のバーが汚れていませんか。	読み取り部と白色のバーをきれいにしてください。P.126 を参照してください。
		ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。 P.128 を参照してください。
	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを設定して印刷条件を調整してください。お買い上げ時は中央位置に設定されています。P.120 を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに白い線が現れる。	本機のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。P.127 を参照してください。それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。
	印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	本機の内部とドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。コロナワイヤーの青いつまみが元の位置にあることを確認します。P.128 を参照してください。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。スキャナ（読み取り部）の清掃を行うと解決できる場合があります。P.126 を参照してください。
	印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。	設定した記録紙をセットしていますか。	設定に合った記録紙を使用してください。P.56 を参照してください。表面が粗い場合や用紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。	本機のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	スキャナウィンドウの清掃をしてください。P.127 を参照してください。それでもトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	仕様に合った記録紙を使用してください。P.33 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。	感光ドラムが汚れていませんか。	数ページ印刷すると、この問題が解決されることがあります。数ページ印刷しても解決されない場合は、汚れが感光ドラムに付着していることがあります。以下の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ①印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探します。 ②ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れがついている場所を手前にもってきます。 ③感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取ります。 【ご注意】 ・感光ドラムに傷を付けないよう注意してください。カッターやボールペンなど先のとがったものは使用しないでください。 ・ドラムが傷ついている場合は新しいドラムユニットに交換してください。 P.132 を参照してください。
	ページ全体が黒く印刷される。	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。P.128 を参照してください。また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでしてください。清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	ページに何も印刷されない。	液晶ディスプレイに「トナーガ　アリマセン」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。P.129 を参照してください。
		スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていませんか。	スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていないことを確認してください。
	印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。	本機を平らなところに設置していますか。	本機が平らな面に設置されていることを確認してください。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右にゆっくりと振り、本機に取り付けてください。
		本機のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	スキャナウィンドウを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。P.127 を参照してください。清掃後も汚れたページが発生し、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.132 を参照してください。湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。
	背景がグレイになる。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.33 を参照してください。本機が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.129 、P.132 を参照してください。
	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.33 を参照してください。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.129 、P.132 を参照してください。
	斜めに印刷される。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。また、記録紙ガイドがセットした用紙に正しく合わされているか確認してください。
	カールしたり波打って印刷される。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.33 を参照してください。高温・高湿の場所に保管されていた記録紙を使用すると、カールしたり波打って印刷されます。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。記録紙を 180 度回転させてセットし直して印刷してみてください。
	印字面に触れると汚れる。	記録紙の設定より厚い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。P.56 を参照してください。
	記録紙がまるまって排出される。	記録紙の設定より薄い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。P.56 を参照してください。
ソフト	Windows®		
	「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源スイッチは On になっていますか。	電源スイッチがOnになっているときは、電源コードを確認してください。
	BRMFC： BRUSB： USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナーガ アリマセン」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。
	Macintosh®		
	本機がセレクタに表示されない。	本機の電源スイッチは On になっていますか。	電源スイッチがOnになっているときは、電源コードを確認してください。
		USB インターフェースが正しく接続されていますか。	USBインターフェースを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバーをインストールしてください。かんたん設置ガイド P.15 を参照してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されているMacintosh®のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。	適切なプリンタドライバーをインストールしてください。また、セレクタを選択してください。
	Windows®またはMacintosh®		
	「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	プリンタケーブルをパソコンに直接接続していますか。	プリンタケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM ドライブ、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージを表示していませんか。	原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.ini ファイルのLoad=、Run = コマンド行とスタートアップグループなど）
		パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがパソコン起動時に自動で実行する状態になっていませんか。	パソコンの製造元に、パソコンのBIOS のパレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	プリンタケーブルが正しく接続されていますか。	プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をパソコンが認識していません。 プリンタケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーガイッパイデス」というエラーメッセージが表示される。	解像度の設定が高くありませんか。	プリンタの解像度を下げてください。文書を簡単にしてもう一度印刷します。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らします。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバーをインストールしてください。かんたん設置ガイド P.15 を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバーを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。
	本機に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって、改善される場合があります。

上記の操作をしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）：0120-143-410」へご連絡ください。

付　録

文字入力をする

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1	アイウエオァィゥェォ1
2 ABC	カキクケコABC2
3 DEF	サシスセソDEF3
4 GHI	タチツテトッGHI4
5 JKL	ナニヌネノJKL5
6 MNO	ハヒフヘホMNO6
7 PQRS	マミムメモPQRS7
8 TUV	ヤユヨャュョTUV8
9 WXYZ	ラリルレロWXYZ9
0	ワヲン゛゜ー0
*	（スペース）！"#$%&'（）*＋，－．／€
#	：；<＝>？@［］^_

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	0 ～ 9 を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「―」（ハイフン）で表示されます。
文字を削除する	停止/終了 を押すとカーソルの位置から最後までの文字をすべて削除する
文字を変更する	◁を押してカーソルを戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	▷を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは▷（2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（* または # ）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▷を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	Menu Set を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 を3回押す	ス
▷を1回押す	ス■
3 を3回押す	スス
0 を4回押す	スス゛
2 を2回押す	スス゛キ
▷を2回押す	スス゛キ　■
2 を4回押す	スス゛キ　ケ
1 を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 を5回押す	スス゛キ　ケイコ

バックアップ用バッテリのリサイクルについて

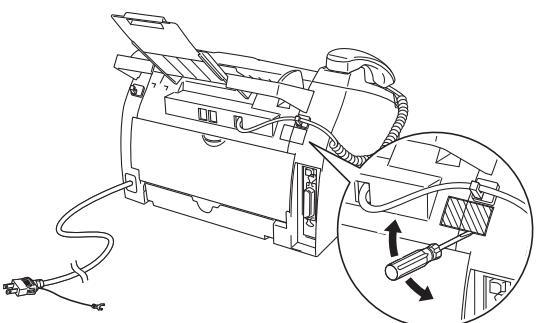
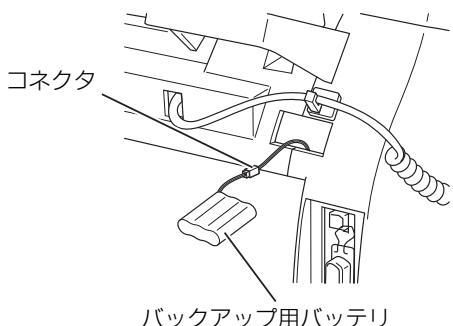
- 本機にはニッケル水素電池が組み込まれています。本機を廃棄するときは、組み込まれているバッテリを取り外してください。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

注意

■リサイクル時のご注意

- コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- 外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池は分解しないでください。

1 バッテリの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に倒してバッテリカバーのツメを折り、カバーを開ける

2 バッテリのコネクタを取り外す

補足

- 使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問合せは、下記へお願いします。

ご家庭でご使用の場合

- 一般社団法人JBRC
  （電話：03-6403-5673 ）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）
- 充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
  ※詳細は、電池工業会ホームページ
  （http://www.baj.or.jp）をご覧ください。
- ブラザー販売（株）ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、「アフターサービスのご案内」P.175 をご覧ください。

事務所でご使用の場合

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-11
  （電話：03-3274-6911）
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒564-0045　大阪府吹田市金田町28-21
  （電話：06-6310-8863）
- 問合せ先：一般社団法人JBRC
  （電話：03-6403-5673）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）
- ブラザー販売（株）ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、「アフターサービスのご案内」P.175 をご覧ください。

機能一覧

初期設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
0. ショキ　セッテイ	1. ジュシン モード	─	FAX=ファクスセンヨウ F／T=ジドウキリカエ ルス=ソトヅケルスデン TEL=デンワ	受信モードを設定します。	P.49
	2. トケイ セット	─	-	現在の日付・時刻を設定します。	P.43
	3. ハッシンモト トウロク	─	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.44
	4. カイセン シュベツ　セッテイ	─	プッシュ　カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ　セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.42
	5. トクベツカイセン　タイオウ	─	イッパン ISDN PBX	回線種別を設定します。	P.64
	6. ナンバーディスプレイ	─	On Off ソトヅケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.62
	0. ヒョウジ ゲンゴ (Local Language)	─	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.31

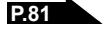
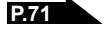
＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	1. モード タイマー	ー	0　ビョウ 30　ビョウ 1　プン 2　プン 5　プン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P.40
	2. キロクシ タイプ	ー	フツウシ フツウシ(アツメ) アツガミ チョウアツガミ OHPフィルム サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P.56
	3. キロクシ　サイズ	ー	A4 B5 A5 A6 USレター	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	P.56
	4. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	着信音量を設定します。	P.57
		2. ボタンカクニン　オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	P.57
		3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	P.58
		4. ジュワ　オンリョウ	ショウ ダイ	受話音量を設定します。	P.58
	5. ショウエネ モード	1. トナー セーブ	On Off	トナーの使用量をセーブします。 「On」に設定すると、印字結果が薄くなります。	P.59
		2. スリープ モード	00 : 05 : 99 (Off)	スリープ状態になるまでの時間を0～99分の間で設定します。 消費電力を節約することができます。	P.59

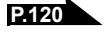
メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	6. ガメンノ　コントラスト	―	ウスク コク	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P.60
	7. セッテイロック	―	―	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.60

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ　カイスウ	0 : 4 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～ 10 回の間で設定します。	P.50
		2. サイ　ヨビダシ　カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本機が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	P.50
		3. シンセツ ジュシン	On Off	ファクスを自動受信する前に本機と接続されている電話をとってしまった場合でも、本機の スタート を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P.83
		4. リモート ジュシン	On (#51) Off	本機と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	P.84
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.81
		6. インサツ ノウド	▼ −□□■□□+ ▲	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.81
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.85
	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	ジドウ ウスク コク	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.72
		2. ファクス ガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.71

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	3. タイマー ソウシン	シテイ ジコク= 00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.79
		4. トリマトメ ソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.79
		5. リアルタイム ソウシン	コンカイノミ: On コンカイノミ: Off On Off	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.75
		6. ポーリング ソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	P.76
		7.ソウフショ	コンカイノミ: On コンカイノミ: Off On Off プリント サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.73
		8.ソウフショ コメント	–	送付書のコメントを作成します。	P.74
		9. カイガイソウシン モード	On Off	海外にファクスを送るときに設定します。	P.78
	3. デンワチョウ トウロク	1. デンワチョウ/ワンタッチ	–	ワンタッチボタン1～20にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.88
		2. デンワチョウ/タンシュク	–	3桁の短縮番号（001～200）にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.90
		3. デンワチョウ/グループ	–	複数の相手をグループ（1～8）として登録します。	P.92
	4. レポート セッテイ	1. ソウシン レポート	On On+イメージ Off Off+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.111
		2. ツウシン カンリ カンカク	レポートシュツリョク シナイ 50 ケン ゴト 6 ジカンゴト 12 ジカンゴト 24 ジカンゴト 2 カ ゴト 7 カ ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.111

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	5. オウヨウ　キノウ	1. テンソウ/メモリージュシン	Ｏｆｆ ファクス　テンソウ デンワ　ヨビダシ メモリー　ジュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.100
		2. アンショウ　バンゴウ	アンショウバンゴウ:−−−＊	外出先から本機を操作するときの暗証番号を設定します。	P.102
		3. ファクス　シュツリョク	−	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P.101
	6. ツウシン　マチ　カクニン	−	−	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.80
	0. アンシン　ツウシン　モード	−	ヒョウジュン アンシン	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.64

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー　ガシツ	−	テキスト シャシン ジドウ	画質を調整します。	P.120
	2. コントラスト	−	▼ −□□■□□+ ▲	コントラストを調整します。	P.120

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
4. セイヒン　ジョウホウ	1. シリアル No.	−	−	シリアル No. を表示します。	P.134
	2. インサツマイスウ　ヒョウジ	−	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス／リスト	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.134
	3. ドラム　ジュミョウ	−	−	ドラム寿命までの残り % が表示されます。	P.135

本機の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T　グループ 3（G3）
圧縮方式	MH/MR/MMR
通信速度	14400bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	最大：257mm 最小：147.3mm
原稿サイズ長さ	最大：364mm 最小：100mm
有効読み取り幅	252mm
記録紙トレイ枚数	約 250 枚（80g/m^2）
記録紙サイズ	A4（幅 210mmx 長さ 297mm）
電送時間	6 秒台 *1
グレースケール	64 階調
液晶ディスプレイ表示	16 桁× 1 行
読み取り方式	CIS による平面走査
代行受信枚数	最大 400 枚 *2
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査：3.85 本 /mm（標準） 7.7 本 /mm（ファイン / 写真） 15.4 本 /mm（S. ファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

*1: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。
*2: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.38 本 /mm）で蓄積した場合（MMR 圧縮時）

プリンタ

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機 Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機
対応 OS	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Windows NT® 4.0 WS Mac OS®　9.1 ～ 9.2/OS X 10.2.4 以降
インターフェース	IEEE1284 準拠パラレルインターフェース Full-Speed USB2.0 インターフェース
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	600 × 600 dpi
印刷速度	20 枚 / 分

電源と使用環境

使用環境	温度：10 ～ 32.5 ℃ 湿度：20 ～ 80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V　　50/60Hz
消費電力※	待機時：80W 以下 ピーク時：840W 以下 スリープ時：10W 以下
稼働音	待機時：30dB 以下　　　動作時：53dB 以下
メモリー容量	8MB
外形寸法	374（横幅）× 374（奥行き）× 262（高さ）mm
質量（トナー／ドラムを除く）	約 7.35kg

※：電源スイッチがOFFでも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品

トナーカートリッジ（TN-25J）	製品付属：約 1500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合 *3） 約 2500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合 *3）
ドラムユニット（DR-20J）	約 12000 枚 *3

*3: 印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

補足

● 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

パソコン環境〔Windows®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional, Windows NT® 4.0（SP6以降）
  Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/64MB（推奨128MB）以上
- Windows® XP
  Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/128MB（推奨256MB）以上

ディスク容量

300MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
パラレル

- OS対応表
  お使いいただいているパソコンのOSによって本機で使用できる機能が異なります。

	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP	Windows NT® 4.0 (SP6 以降)
プリンタ	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	○	○

補足

● USBケーブル、パラレルケーブルは市販のものをお使いください。

● USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。

● Hi-Speed USB 2.0対応のパソコンでもお使いいただけますが、12Mbit/secのFull-Speedモードでの接続になります。

● メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

● USB接続は、次のパソコンに対応しています。
  - Windows® 98/98SE/Me/2000/XPのプレインストールモデル
  - 以下のアップグレードモデル
    Windows® 98/98SE→Windows® Me/2000/XP
    Windows® Me→Windows® 2000/XP
    Windows® 2000→Windows® XP

● Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0 を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

パソコン環境〔Macintosh®〕

本機とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® 9.1～9.2/32MB（推奨64MB）以上
Mac OS® X 10.2.4以降/128MB（推奨160MB）以上

CPU

- Power PC G3/G4/G5

ディスク容量

280MBの空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

USB

- OS対応表
  お使いいただいているMac OS®のバージョンによって本機で使用できる機能が異なります。

	Mac OS®	Mac OS® X
	9.1 ～ 9.2	10.2.4 以降
プリンタ	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	×	○

補足
- USBケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.4までをお使いの場合は、Mac OS® 9.1以降へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本機の液晶表示パネルです。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて受話器を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッタ**
ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● **トナー**
炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● **ナンバー・ディスプレイサービス**
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本機を接続します。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート受信
本機に接続された電話機から本機を操作する機能です。

● リモートセットアップ
本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CSV 形式
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。
送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。

● IP フォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTT が行っている総合デジタル通信網サービスです。「INS ネット 64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線 2 本と同様な使い方ができます。

● MFC/DCP ドライバ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバなどを持っています。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC-FAX
パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX のアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf 形式)
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● Windows® 98/98SE/Me/2000/XP
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 98 年、00 年（= Millennium edition）、98SE は 99 年、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT®
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

索　引

め

も

よ

り

わ

〈キリトリ線〉

リモート アクセス

暗証番号

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が３回聞こえますので、もう１度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）	951
ファクス転送に設定（※2）	952
電話呼び出しに設定（※2）	953
ファクス転送番号の登録・変更	954＋転送番号+##
メモリー受信を設定	956
ファクスの取り出し	962＋ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック(※3)	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

〈キリトリ線〉

ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
・FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
　5,000円未満の場合は500円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞　・・・・ご注文後２～３営業日後の商品発送

※配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・ご入金確認後２～３営業日後の商品発送

※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい）
※振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞　・・・・カード番号確認後２～３営業日後の商品発送

※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット：http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト　：右の二次元コードにアクセス
FAX　：０５２－８２５－０３１１
フリーダイヤル®　：０１２０－１１８－８２５
（土・日・祝日、弊社長期休暇を除く
　9：00～12：00、13：00～17：00）
振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社 ダイレクトクラブ
三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通6428357
ゆうちょ銀行　振替口座番号　00860-1-27600

http://direct.brother.co.jp/

お客様ご住所 〒

お名前　**TEL**　**FAX**

お支払い方法　代引き・カード・銀行前振込

カード種類　①VISA　②JCB　③UC　④DINERS　⑤CF　⑥Master　⑦JACCS

カードNO

カード名義人名　**有効期限　年　月**

商品名	コード	単価（税込）	ご注文数	金額
トナーカートリッジ	TN-25J	7,875 円		
ドラムユニット	DR-20J	12,600 円		
配送料および消費税は変わる可能性があります。(消費税:2005年6月現在) ●ブラザーサービスパック・年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧下さい			合計	

必要な場合は恐れいりますが、コピーを取ってお使い下さい。
※本機から印刷することもできます。詳しくはP.110を参照してください。

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【FAXお客様お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター） TEL：0120-143-410

受付時間　9：00〜20：00（土曜日のみ17：00まで）
営業日　月曜日〜土曜日（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
®：0120-118-825　FAX：（052）825-0311
インターネット：http://direct.brother.co.jp/shop/

ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

brother

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。
当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。
純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。
現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が
本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.
We can not recommend using them overseas
because it may violate the Telecommunications Regulations of
that country and the power requirements of your fax machine
may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。